

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 BU-DRHD635T	
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お客様 お名前 ご住所	様 〒 TEL ()
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

カメラ一体型増設タイプドライブレコーダー

Yupiteru

BU-DRHD635T

取扱説明書

12V/24V車対応



このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、連続した録画記録や、万一の事故発生時に映像を最大60秒間記録します。

⚠ 注意

- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず電源 OFF になっているのを確認した後、SD カードを抜いて保管してください。
- 電源 ON の状態で SD カードの抜き差しを行わないでください。SD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後ランプが 3 秒以上消灯したことを確認し、SD カードの抜き差しを行ってください。

確認と注意

基礎知識

設置と準備

専用ソフト

その他



ご注意

SD カードは、 数カ月に一度 フォーマットが必 要です。

SD カードは、データの記録が繰り返されると、録画可能時間が減少したり、データの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。

安定してお使いいただくために、数カ月に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。

16

ページ

録
画
に
つ
い
て

19

ページ

本
機
の
取
り
付
け
に
つ
い
て

確認とご注意

安全上のご注意 4

使用上のご注意 8

GPS 測位機能について 9

各部の名称と働き 10

1. 付属品 11

2. 別売品 12

SD カードの装着 / 取り外し 13

1. SD カードを本機に装着する 13

2. SD カードを本機から取り外す 13

SD カードカバーの装着 / 取り外し... 14

1. SD カードカバーを本機に装着する 14

2. SD カードカバーを本機から取り外す ... 15

基礎知識

録画について 16

1. 常時録画 16

2. イベント記録
(G センサー記録とワンタッチ記録) 17

3. マルチトリガーについて 18

4. 上書きモードについて 18

設置と準備

取り付けかた 19

1. 本機の取り付け 20

2. サブカメラの取り付け 21

電源について 23

1. 接続方法 23

2. ヒューズの交換について 24

専用ソフトのインストール 25

動作テスト 25

1. 専用ソフトをインストール 25

1. 設置角度検出をする 26

2. 本機の準備 28

3. テスト記録の確認 30

専用ソフト

専用ソフトの使いかた 32

1. 録画データの準備 32

2. 画面説明 33

3. 表示エリアの操作 34

録画データを再生する 37

1. 録画データを再生する (イベント記録) ... 37

2. 録画データを再生する (常時録画) 39

28

ページ

本機との
症状と
対処法
の

33

ページ

専用ソフトの
画面説明

59

ページ

Gセンサー感度を
設定する

77

ページ

映像記録時間の目安

記録した映像を保存する 41

1. バックアップ 41
2. 動画変換 42
3. 静止画変換 43

レポートを表示する 44

1. レポートを表示 (印刷) する (イベント記録) 44
2. レポートを表示 (印刷) する (常時録画) 46
3. レポートを表示 (印刷) する (履歴記録) 48

記録した映像を印刷する 50

履歴記録を見る 51

Google Earth 用のデータに変換する... 53

設定を変更する 55

1. 記録設定 55
2. システム 58
3. 衝撃感度設定 59
4. SD カードフォーマット 60
5. 録画データ削除 62
6. 記録設定データ初期化 63
7. バックアップ 63
8. 初期設定に戻す 63

インフォメーション 64

1. バージョン情報を確認する 64
2. ホームページを表示する 65
3. その他 65

その他

別売品の

SD カードを使用する前に・・・ 66

SD カードの機種設定の確認 / 変更... 69

1. SD カードの機種設定を確認する 69
2. SD カードの機種設定を変更する 70

故障かな?と思ったら 71

動作一覧 74

エラー表示一覧 75

仕様 76

映像記録時間の目安 77

1. 録画時間 77
2. イベント記録件数 77

サブカメラ増設時のイベント記録時間... 78

アフターサービス 79

保証書 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

! 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🔗 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- !** 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

< 異常な状態の例 >

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

▶ P.79「アフターサービス」

- !** 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

- !** 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。

- ⊘** 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色や変形、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ⊘** 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ⊘** 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



- ⊘** サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⚠ 注意

❌ 結露したまま使い続けしないでください。
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

❌ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

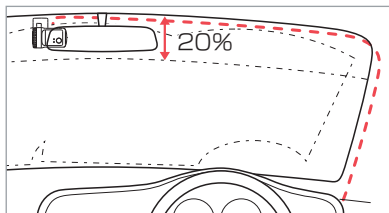
⚠ 本機は精密機械です。
静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠ SD カードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

● 取り付けについて

⚠ 警告

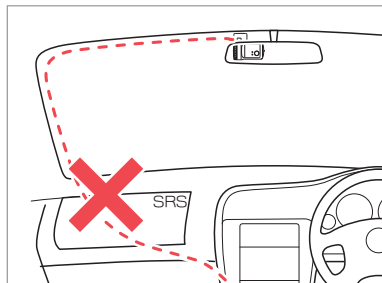
❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。



❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❌ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

❗ 取り付けは確実に行ってください。
本機などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

⚠ 本機の通気口等を塞がないでください。
故障の原因となります。

● 車両接続ハーネスについて

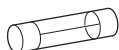
警告

- ❗ 取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、けがの原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものとは交換してください。



交換ヒューズ 2A
(30mm×6.5mm)

- ❗ コードの接続は＋の極性をよく確かめて確実に行ってください。

異常過熱や発火の原因となります。

- ❗ 取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。

車両の電装品（ブレーキ、ライト、ウinkerなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

- ❗ 車両接続ハーネスは確実に差し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、車両接続ハーネスを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ バッテリーに直接接続しないでください。

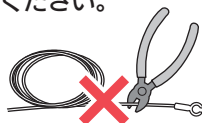
火災や感電、故障の原因となります。

- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

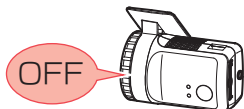
故障や感電の原因となります。



● SDカードについて

警告

- ❗ SD カードの出し入れは、本機の電源 ON になっていないことを確認して行ってください。



- ❗ SD カードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● 本機の操作・運転について

警告

- ❗ 運転中にカメラ等を注視しないでください。

前方不注意による事故の原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

！ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

⊘ 海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

⊘ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

⊘ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注意

！ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などでふくとキズの原因となります。

⊘ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



⊘ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・真夏などの炎天下の中では製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になることがありますので、窓を開け車内の温度を下げてからご使用ください。
- ・事故発生時は、録画データが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。

■ SD カードに関する注意

- ・SD カードは必ず付属品か別売品を使用してください。市販品の SD カードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- ・SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。別売品の SD カード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、リーダーライターが SDXC メモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないリーダーライターに接続すると、SDXC メモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。
- ・SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数カ月毎に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- ・SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- ・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

■ 車両接続ハーネスに関する注意

- ・車両接続ハーネスのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ (2A) と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ GPS 測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 使用前の注意

- ① P.25 を参照し、専用ソフトをパソコンにインストールして起動してください。
- ② 専用ソフトのファイルメニュー [ツール] → [記録設定] から各種の設定を確認し、[OK] をクリックしてください。



■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

GPS 測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、走行履歴の保存ができます。

※ 走行履歴の記録時間は、「履歴記録時間」で変更できます。(P.56)

1-1 車両のエンジンを ON する

本機の電源が入ると、GPS 測位機能が働きます。



※ 通常、GPS 測位が完了するまで、約 10 秒から約 3 分かかりますが、購入直後やビルの谷間など、視界の悪い場所では、20 分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

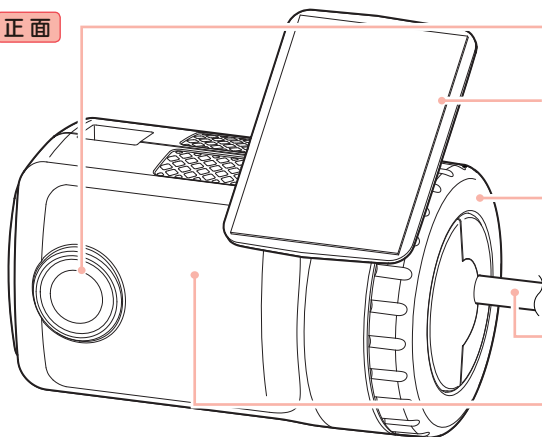
・TV による GPS 測位障害について

車載 TV を UHF56 チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56 チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。

各部の名称と働き

■ 本体

正面



レンズ

ブラケット

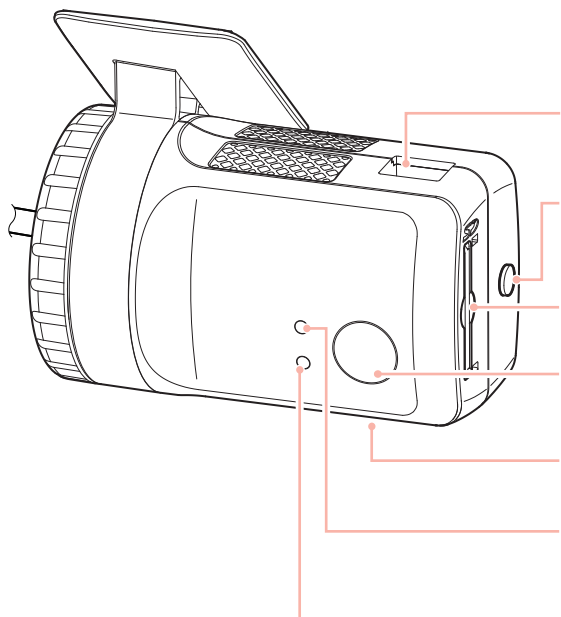
ナット

車両接続ハーネスと接続します。
(●P.23)

GPS アンテナ部
GPS 衛星からの電波を受信します。

内蔵マイク
周囲の音を収集します。

背面



サブカメラケーブル挿入口
別売品の OP-CM200 または OP-CM202IR
を接続します。(●P.21)

キャップ
お客様の必要に応じて、キャップの代わりに
付属の SD カードカバーを取り付けできます。
(●P.14)

SD カード挿入口
SD カードを挿入します。(●P.13)

録画ボタン
最大 60 秒の映像をワンタッチで記録できます。
(●P.17)

シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

録画ランプ(青)
常時録画時に点灯、イベント記録時および
上書き時に点滅します。(●P.18)

電源ランプ(赤)
本機電源 ON 時に点灯します。
(●P.18、P.28)

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ 車両接続ハーネス(約 4 m) …… 1



交換用ヒューズ
2A(30mm × 6.5mm)

■ SD カードカバー …… 1

■ +(プラス)ネジ(M3 × 5mm) …… 1

■ 専用 SD カード(8GB) …… 1

■ 両面テープ …… 1

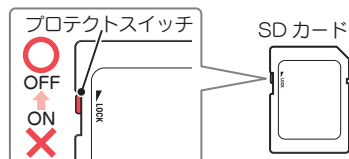
■ 取扱説明書・保証書(本書) …… 1

- ・ 本機には、お買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。
ただし、SD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・ 本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

- ・ SD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
- ・ SD カードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

SD プロテクトスイッチについて

SD カードには、プロテクト(書き込み禁止)機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチを OFF にしてください。



※ 付属品・別売品の追加購入に関しましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

2. 別売品

■ 専用 SD カード(8GB)	OP-SD08	3,300 円
■ 専用 SD カード(16GB)	OP-SD16	5,500 円
■ 専用 SD カード(32GB)	OP-SD32	11,000 円
■ 専用 SD カード(64GB)	OP-SD64	19,800 円
■ 専用 SD カード(128GB)	OP-SD128	33,000 円

※ 付属、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。

■ オプションサブカメラ OP-CM200 16,500 円

本体	1
両面テープ	1
ケーブル(約 3 m)	1



オプションサブカメラを接続することで 2 カメラの同時記録が可能です。(➡ P.21)

※ オプションサブカメラは防水仕様ではありません。

■ オプションサブ IR カメラ OP-CM202IR 19,800 円

本体	1
両面テープ	1
ケーブル(約 3 m)	1



オプションサブ IR(赤外線)カメラを接続することで 2 カメラの同時記録が可能です。(➡ P.21)

※ オプションサブ IR カメラは防水仕様ではありません。

SD カードの装着 / 取り外し

※ 付属の SD カードまたは別売品の SD カード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

⚠ 注意



- ・電源 OFF (録画・電源ランプ消灯) にしてから行ってください。
- ・SD カードは一方方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。

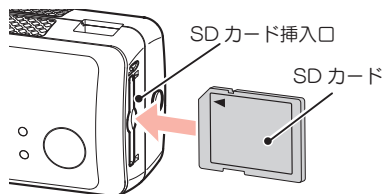
1. SD カードを本機に装着する

1-1 車両のエンジンを OFF する

本機の電源 OFF (録画・電源ランプがすべて消灯) を確認してください。

1-2 SD カードを挿入する

SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



・SD カードカバーを装着している場合…

SD カードカバーを取り外してから SD カードを装着してください。

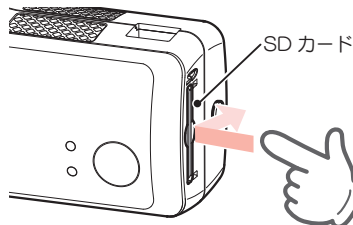
➡ P.15 「SD カードカバーを本機から取り外す」

2. SD カードを本機から取り外す

2-1 車両のエンジンを OFF する

本機の電源 OFF (録画・電源ランプがすべて消灯) を確認してください。

2-2 SD カードを押し込み、カードが飛び出してから引き抜く



・SD カードカバーを装着している場合…

SD カードカバーを取り外してから SD カードを取り外してください。

➡ P.15 「SD カードカバーを本機から取り外す」

※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

SD カードカバーの装着 / 取り外し

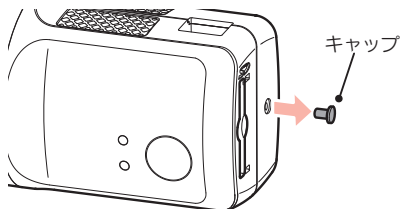
付属の SD カードカバーは、お客様の必要に応じて取り付けてください。

※ SD カードカバーを取り付けなくても、本機は正常に動作します。

※ SD カードの出し入れは、SD カードカバーを取り外してから行ってください。

1. SD カードカバーを本機に装着する

1-1 キャップを外す

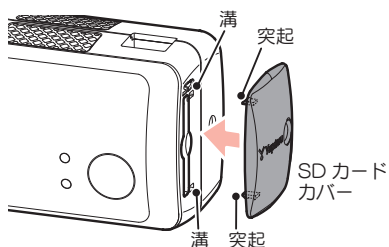


※ キャップを外さないと SD カードカバーは取り付けできません。

※ キャップは完全に分離しますので、紛失に気を付けて大切に保管してください。

1-2 SD カードカバーを取り付ける

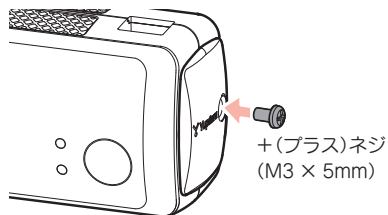
付属の SD カードカバーの突起を本機の溝にあわせて差し込みます。



※ SD カードカバーの突起は折れやすいため、慎重に取り付けてください。

1-3 ネジを取り付ける

付属の+（プラス）ネジを市販品の+（プラス）ドライバーで取り付けます。



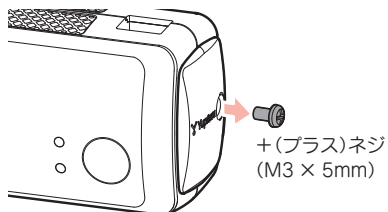
※ +（プラス）ネジはお客様の必要に応じて変更が可能です。

※ +（プラス）ネジを取り付けなくても本機は正常に動作します。

2. SD カードカバーを本機から取り外す

2-1 ネジを外す

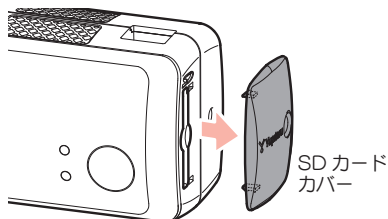
＋（プラス）ネジを市販品の＋（プラス）ドライバーで取り外します。



※ ＋（プラス）ネジは完全に分離しますので、紛失に気を付けて大切に保管してください。

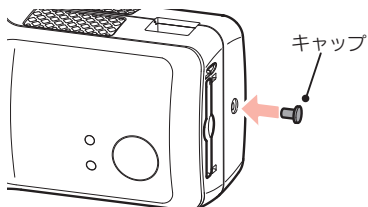
※ ＋（プラス）ネジはお客様の必要に応じて変更が可能です。

2-2 SD カードカバーを外す



※ SD カードカバーは完全に分離しますので、紛失に気を付けて大切に保管してください。

2-3 キャップを取り付ける



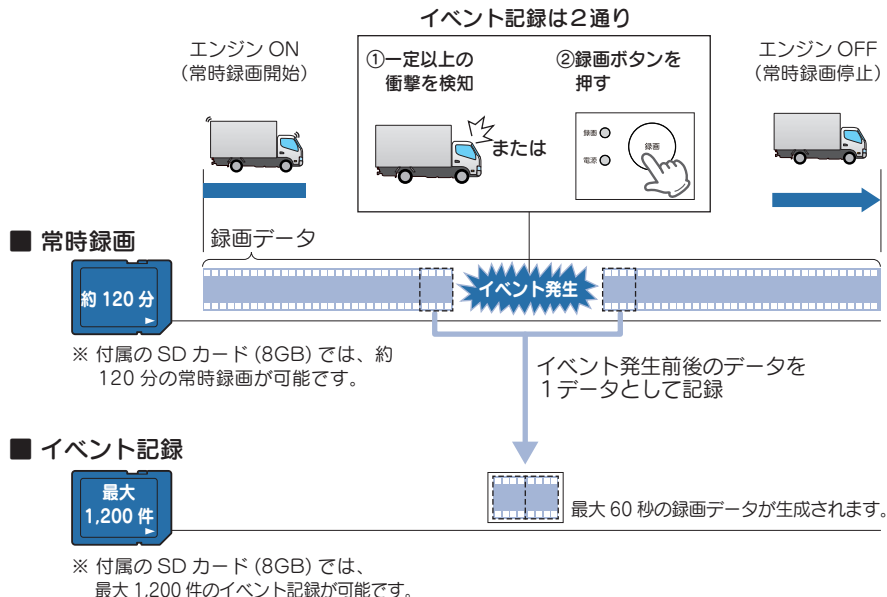
※ 付属のキャップをご使用ください。

※ キャップを取り付けなくても、本機は正常に動作します。

録画について

録画方法は、[常時録画]、[イベント記録]、[常時 + イベント] があります。専用ソフトを使って、録画方法を選択することができます。(● P.55)

※ 初期値は [常時 + イベント] に設定されています。



1. 常時録画

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像を SD カードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。(● P.55)

・ 録画可能時間

初期値 (30 コマ / 秒、1080P(1920 × 1080)) で、付属の SD カード (8GB) に約 120 分の常時録画が可能です。SD カードの容量によって録画可能時間は異なります。(● P.77「録画時間」)

・ 上書きモード

初期値では [上書きモード] が [ON] のため、120 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.57「上書きモード」)

2. イベント記録(G センサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録には G センサー記録とワンタッチ記録があります。

イベント記録中は録画ランプ（青）が点灯から早い点滅に変化し、ピープ音が鳴り、記録が行われます。記録が終了すると録画ランプ（青）が早い点滅から点灯に戻ります。

※ 前後時間比率は、記録設定によって変更することができます。（● P.56）

※ 記録時の警報ブザーは設定で OFF にすることができます。（● P.58）

※ G センサー記録、ワンタッチ記録それぞれの記録時間を個別に設定することはできません。

※ 録画コマ数を [2 コマ / 分]、[1 コマ / 分]、[12 コマ / 時]、[6 コマ / 時] に設定した場合、イベント記録コマ数は [1 コマ / 秒] になります。（● P.56）

・録画データ構成

1 データあたり最大 60 秒(イベント発生前 50 秒とイベント発生後 10 秒)で生成します。

・最大記録件数

初期値(前後 10 秒(20 秒))で、付属の SD カード(8GB)に 360 件のイベント記録が可能です。SD カードの容量によって最大記録件数は異なります。（● P.77「イベント記録件数」）

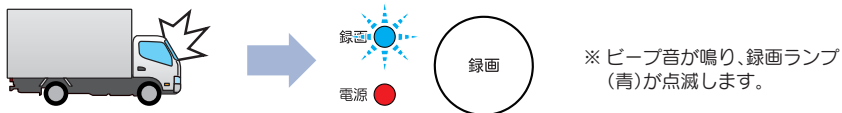
・上書きモード

初期値では上書きモードが [ON] のため、記録件数が 360 件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。（● P.57「上書きモード」）

■ G センサー(加速度センサー)記録

内蔵の G センサーが一定以上の衝撃を検知した場合には「G センサー記録」として前後の映像を SD カードに記録します。

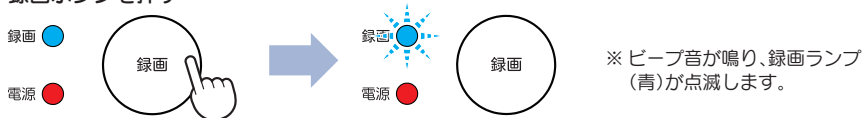
一定以上の衝撃を検知



■ ワンタッチ記録

本機の録画ボタンを押すことで、押した前後の映像を「ワンタッチ記録」として SD カードに記録します。

録画ボタンを押す



録画設定が [常時録画] または [常時録画 + イベント] の場合、録画ボタンを押すことで、常時録画の映像に対してタイムラインにトリガが黄色でマークされます。（● P.40）

※ トリガは常時録画の映像に対してマークされているため、常時録画の映像が上書きされた場合、トリガも上書きされます。

※ 録画設定を [常時録画] にした場合、ワンタッチ記録は行いませんが、常時録画データにトリガはマークされます。

⚠ 注意



・ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. マルチトリガーについて

本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2回目以降の衝撃も連続して記録可能です。

※ マルチトリガー検知後は、設定されている時間（例：8 秒間）記録します。

■ 例：イベント記録時間の設定が 12 秒 / 8 秒の場合



4. 上書きモードについて

上書きモードを [ON] にして、いずれかの録画方法が上書きになると、録画ランプ (青) は点滅になります。

上書きモードを [OFF] にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、『ピーピーピー』と 4 回ピープ音が鳴り、その録画方法での録画を停止します。
(P.57)

本機ランプ表示について

本機の状態を、ランプで確認することができます。

以下に点灯パターンを表示します。

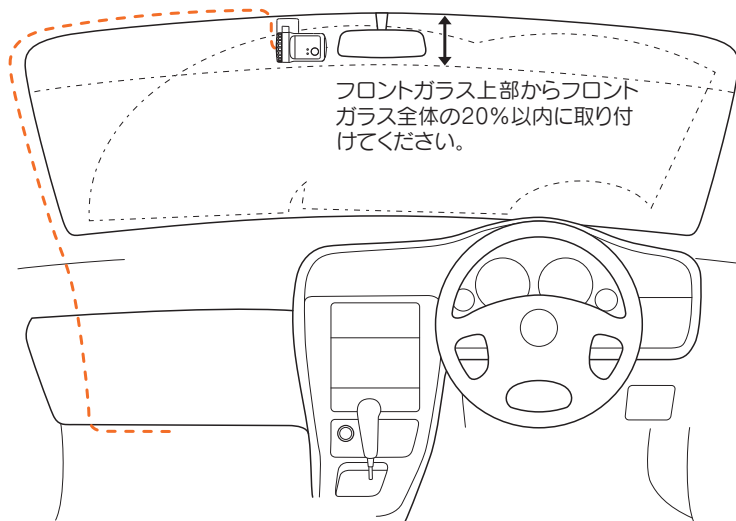
録画ランプ	電源ランプ
●常時録画中 青点灯 	●動作中 
●常時録画中(上書き) 青 青 青 青 青 消灯 消灯 消灯 消灯 消灯 	赤点灯 
●イベント記録中 青 青 青 青 青 青 青 青 青 消 消 消 消 消 消 消 消 消 	
●イベント記録中(上書き) 青 青 青 青 青 青 青 青 青 消 消 消 消 消 消 消 消 消 	
●録画停止中 消灯 	●非動作中 消灯 

取り付けかた

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

- フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- 両面テープは所定の位置に、 しっかり取り付けてください。
- 視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- フロントウィンドウ縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、 取り付けてください。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。

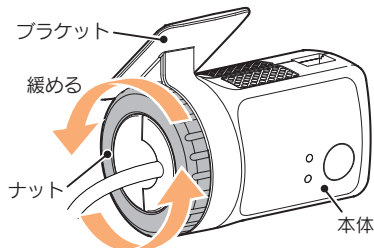


1. 本機の取り付け

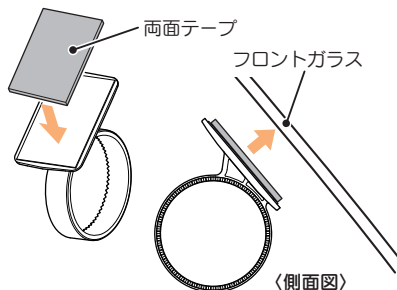
フロントガラスの角度に合わせてカメラの角度を自由に調整できます。(特許第 4712858 号) あらかじめブラケットや、フロントガラスの汚れや脂分をよく落としたあと慎重に取り付け、車両外から貼り付け面にムラが無いことを確認してください。

※ 本機を初めて取り付けたときや、本機の取り付け角度を変更したときは、設置角度検出 (●P.60) を必ず行ってください。

1-1 ナットを外し本体からブラケットを取り外す



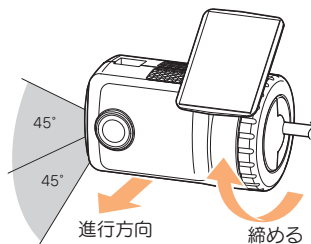
1-2 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける



※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。

※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

1-3 ブラケットに本体を装着し、レンズを進行方向の撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する



※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

※ 上下 45°の角度まで本体を傾けて取り付けすることができます。

2. サブカメラの取り付け

オプションサブカメラ (OP-CM200) とオプションサブ IR カメラ (OP-CM202IR) は別売品となります。別途ご購入いただくことで、2 カメラの同時記録が可能です。本手順では、「オプションサブカメラ」と「オプションサブ IR カメラ」を「サブカメラ」と表記しています。

※ 設定の変更を行わないと撮影ができません。(☛ P.57)

※ サブカメラの設定を [無効] (☛ P.57) にした場合、サブカメラは取り外してください。

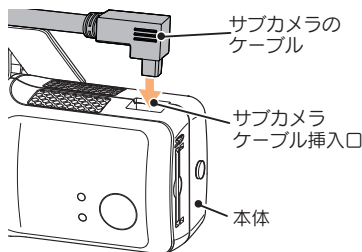
※ オプションサブカメラ、オプションサブ IR カメラは防水仕様ではありません。

例：サブカメラをダッシュボード上に取り付ける場合

あらかじめダッシュボードの取り付け面にホコリや汚れがないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近い場所にしてください。

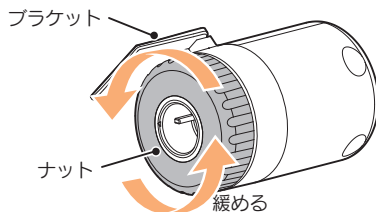
※ イラストはオプションサブカメラを使用しています。取り付け方法は、オプションサブカメラとオプションサブ IR カメラで共通です。

2-1 サブカメラのケーブルを本体のサブカメラケーブル挿入口に差し込む

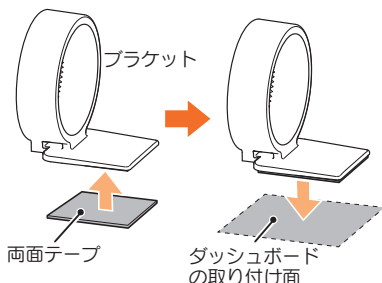


※ サブカメラのケーブルは、左図の方向で正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、ケーブルやサブカメラの故障の原因となります。

2-2 サブカメラのナットを外し、ブラケットを取り外す

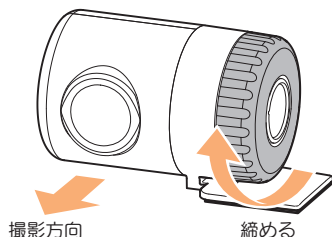


2-3 ブラケットに両面テープを貼り付け、ダッシュボードに取り付ける



- ※ 両面テープは、サブカメラの付属品をご使用ください。
- ※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。
- ※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

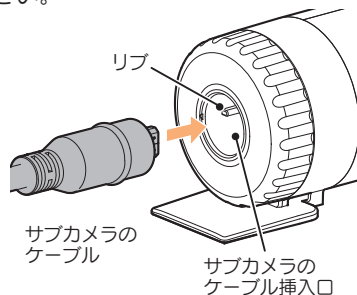
2-4 ブラケットにサブカメラを装着し、レンズを撮影方向に向け、ナットを締めて固定する



- ※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

2-5 サブカメラのケーブルをサブカメラのケーブル挿入口に挿し込む

ケーブルの溝と挿入口のリブを合わせ、下図の方向へ正しく入れてください。



- ※ 無理に誤った方向に入れた場合、ケーブルやサブカメラの故障の原因となります。

電源について

接続作業の前に…

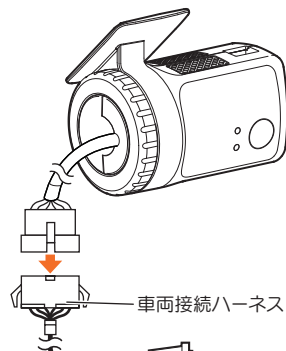
作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。

※ カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

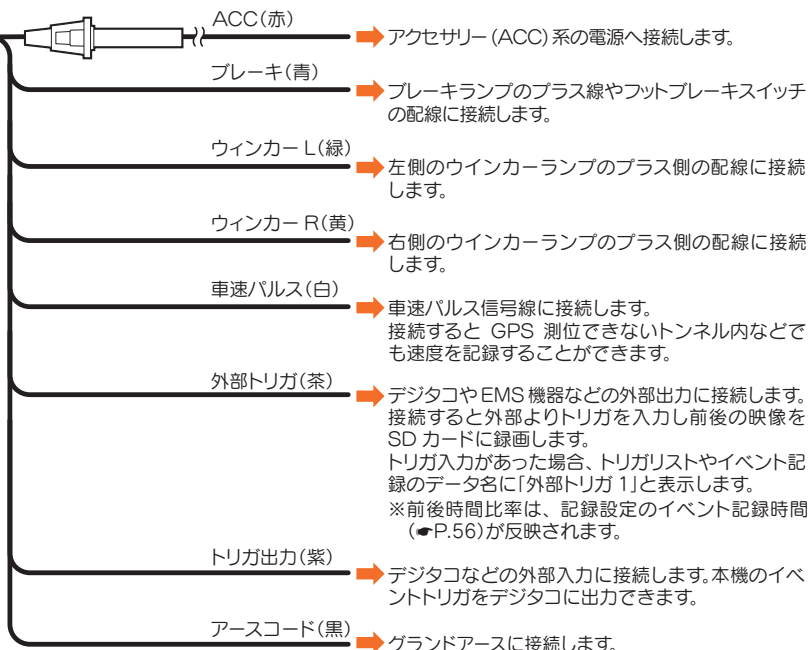
1. 接続方法

付属の車両接続ハーネスを接続します。

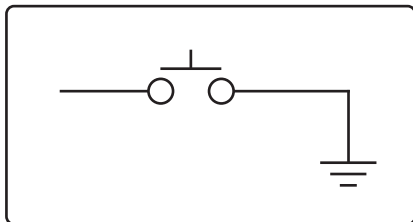
下図のようにそれぞれ正しく接続してください。



- ・ 本機と車両接続ハーネスをコネクタで接続してください。
- ・ ACC（赤）は、必ずエンジンキーのアクセサリ ON/OFF 操作と連動して電源 ON/OFF する配線に接続してください。
- ・ アースコード（黒）は、グランドアースに接続してください。
- ・ 走行中の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。
- ・ トリガ出力に ACC など、電源や別の出力信号を接続しないでください。



■ 外部トリガ(茶色)接続先参考図



バックアップ機能について

重大事故などで、衝撃を検知後に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、録画中の映像の破損を防いで保存します。

取り付けが終了したら…

取り付けが終了したら、専用ソフトをインストールして、動作テストを行ってください。

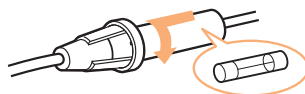
2. ヒューズの交換について

接続状態でエンジンをかけても、機器の電源が入らない場合は、車両接続ハーネスのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、車両接続ハーネスのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを押しながら図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める



交換用ヒューズ 2A
(30mm × 6.5mm)

専用ソフトのインストール

本機で記録した映像は、専用ソフトを使い、パソコンで見ることができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

■ 画像処理機能を動作させる場合

OS : Microsoft Windows 10、8、7

CPU : Core i5 相当、3.0GHz 以上

メモリ : 8GB 以上

DirectX9.0c 以降のバージョン

(2021年4月現在)

- ※ 対応 OS や動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
- ※ 本体とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。本体から SD カードを取り出して、SD カードをパソコンと接続してください。
- ※ Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、専用ソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生するファイルの種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ 専用ソフトの画面サイズは 1024 × 768 ピクセル固定です。
- ※ コントロールパネル内のディスプレイの設定が「100%」になっていないと起動することができません。
- ※ 本機の記録解像度は、最大 200 万画素ですが、専用ソフトで表示する場合は、画像処理で減少します。
- ※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ソフトをインストール

弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。

(https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html) /

※ 誤って専用ソフトを削除した場合、または OS やシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ソフトをダウンロードしてください。

動作テスト

本機は SD カードの設定を読み込み、動作します。ご使用になる前に、必ず下記の手順で動作テストを行ってください。テストを行わない場合、正常に動作しないことがあります。

⚠ 注意



・パソコンや SD カードリーダーライターから SD カードを取り外す際は、お使いのパソコンやカードリーダーライターに付属の取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SD カードを破損させてしまう恐れがあります。

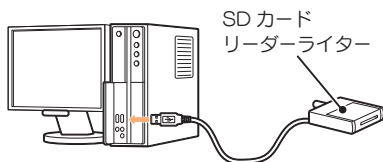
1. 設置角度検出をする

1-1 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする

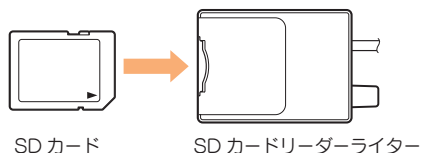


・専用ソフトが起動しない場合
「DirectXの初期化に失敗しました」、「d3d9.dllがありません」、「xxx.dllが見つからなかった……」といったエラーに対処するには「DirectX Runtime」のアップデートが必要です。
「DirectX エンドユーザーランタイム」で検索し、ダウンロードおよびインストールを行ってください。

1-2 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する

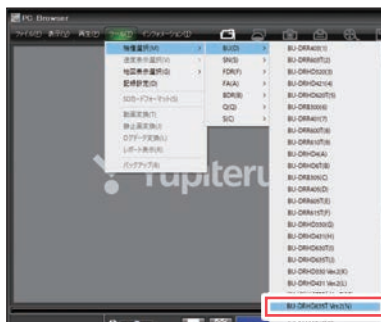


1-3 付属の専用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



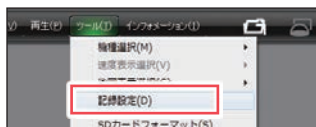
※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

1-4 メニューバーの [ツール] → [機種選択] → [BU] → [BU-DRHD635T Ver.2] を選択する



※ 間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

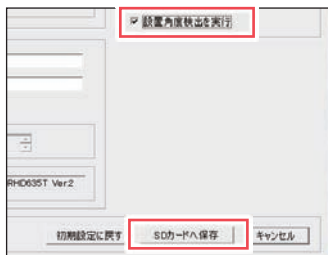
1-6 メニューバーの[ツール]→
[記録設定]を選択する



1-7 [DRIVEREC1] を選択し、[OK]
をクリックする



1-8 [設置角度検出を実行]に ☒ を入れ
[SDカードへ保存]をクリックする



・サブカメラ使用時は、カラーモードを正しく設定してください。

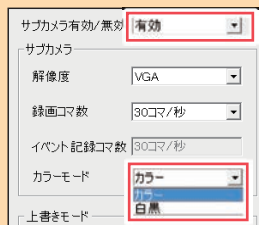
まずサブカメラを[有効]にします。

オプションサブカメラ(OP-CM200)を使用する場合は、
[カラー]を選択してください。

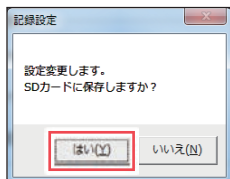
オプションサブIRカメラ(OP-CM202IR)を使用する場合は、
[白黒]を選択してください。

※ オプションサブIRカメラ使用時に[カラー]を選択
すると、正しい色合いで録画できません。

※ サブカメラの設定詳細は P.57 を参照ください。



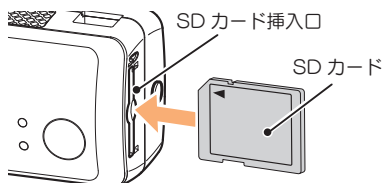
1-5 [はい]をクリックし、パソコンから
SDカードを取り出す



2. 本機の準備

設置角度検出をしますので、車両を平らな場所へ移動させてから実施してください。

2-1 設定済みの SD カードを挿入する



- ・SD カードを挿入するときは…
電源 OFF であること(録画・電源ランプが消灯)を確認して、SD カードを挿入してください。
- ➡ P.13「SD カードを本機に装着する」

2-2 車両のエンジンを ON する

電源ランプ(赤)が点灯します。
設置角度検出が正常に起動すると、
録画ランプ(青)が点灯し、録画が開始されます。



- ※ 本機から『ピー』と鳴る場合は、SD カードの挿入を確認してください。
- ※ 購入後、初めてご使用される場合、障害物や遮へい物のない見通しのいい場所で 10 分～20 分程度停車状態にし、GPS の電波を受信(測位)させてください。

■ 電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が点灯

録画 ●

電源 ●



正常に起動しています。

- ※ イベント記録のみの設定の場合、電源ランプ(赤)のみが点灯します。

■ エラーの症状と対処法

ランプの状態	警告音	症状・対処法
電源ランプ(赤)だけが点灯する	『ピー』と鳴る	・SD カードが挿入されていない。 付属の SD カードまたは別売品の SD カードを挿入してください。
電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が 10 秒間交互に点灯する	『ピーピーピー』と鳴る	・付属の SD カードのプロテクトスイッチが ON (書き込み禁止)になっている。 車両のエンジンを OFF し、付属の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にしてから再度挿入してください。(➡P.11「SD プロテクトスイッチについて」) ・本機専用以外の SD カードが挿入されている。 車両のエンジンを OFF し、SD カードを抜き取り、付属の SD カードまたは別売品の SD カードを挿入してください。
—	『ビビビビ』と鳴る	・サブカメラが本体に接続されていない。 (サブカメラ増設時) サブカメラを本体に接続してください。(➡P.21) ※ 専用ソフトの設定が「サブカメラ:[無効]」になっている場合、サブカメラが接続されていなくても警告音は鳴りません。

※ エラー時のピー音は録画ボタンを押すことにより消すことができます。

準備が終了したら…

本機の準備が終了したら、テストとして映像を記録します。

2-4 録画ボタンを押す

録画ランプ(青)が点灯から点滅になり、『ピー』と音が鳴ります。



※ 記録が終了すると、録画ランプ(青)が点滅から点灯に戻ります。

2-5 車両のエンジンを OFF する

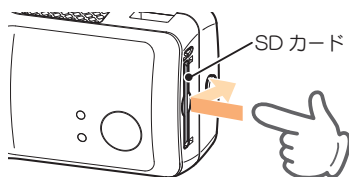


※ エンジンを OFF しても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。

SD カードの抜き差しは、本機の電源 OFF(録画・電源ランプが消灯)を確認してから行ってください。

※ GPS を測位していれば、電源 OFF するたびに、自動的に日時を補正します。

2-3 本機から SD カードを取り外す



・ SD カードを取り外すときは…

電源 OFF であること(録画・電源ランプが消灯)を確認して、SD カードを取り外してください。

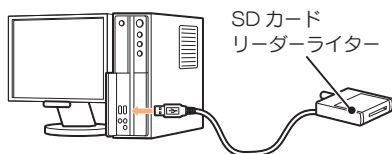
▶ P.13「SD カードを本機から取り外す」

テスト映像を記録したら…

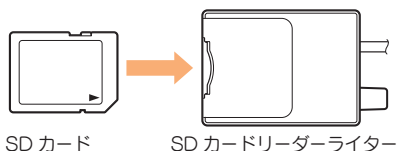
専用ソフトがインストールされているパソコンで映像の確認を行います。

3. テスト記録の確認

3-1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



3-2 付属のSD カードをSD カードリーダーライターに接続する



※ ご使用のSD カード容量に対応していないSD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

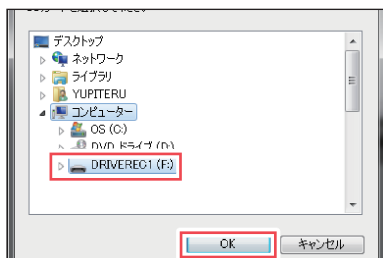
3-3 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



3-4 [フォルダ] (Folder) をクリックする



3-5 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



※ [ファイル] をクリックし [データフォルダを指定] から、[DRIVEREC1] を選択しても同じ画面表示になります。

3-6 見たい録画データ名に ☒ を入れ、 [読み込み]をクリックする



- ※ 複数のデータを選択できます。
- ※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☒ が表示されます。

3-7 再生する

 ボタンをクリックすると、再生します。



- ※ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

テスト記録を確認したら…

テスト記録に問題が無ければ、[記録設定] ( P.55) をお好みの設定に変更して、SD カードを本機に戻してご使用を開始してください。

問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

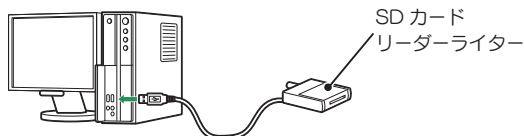
SD カードは数カ月に一度フォーマットが必要です。

SD カードは、データの記録が繰り返されると、録画可能時間が減少したり、データの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために、数カ月に一度、SD カードのフォーマットを行うことをお勧めします。( P.60「SD カードフォーマット」)

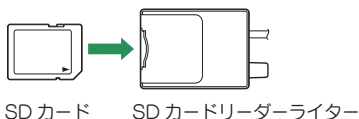
専用ソフトの使いかた

1. 録画データの準備

- 1-1 SD カードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

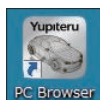


- 1-2 付属の SD メモリーカードを SD カードリーダーライターに接続する



※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

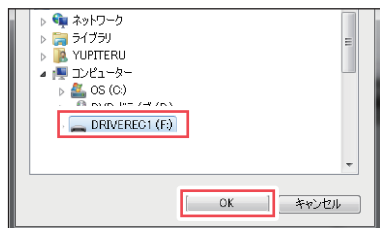
- 1-3 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



- 1-4 (フォルダ) をクリックする



- 1-5 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



※ [ファイル] をクリックし [データフォルダを指定] から、[DRIVEREC1] を選択しても同じ画面表示になります。

2. 画面説明



No.	表示名	表示の意味
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		静止画に変換します。
		印刷をします。
		動画変換します。
		データのバックアップをします。
		ログデータに変換します。
		レポートを表示します。
		記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。 (☛ P.34「表示エリアの操作」)
③	音量 / 表示切替ボタン	音量の調節 / 1 画面表示、16 分割表示の切替 サブカメラ操作 (サブカメラ接続設定時)
④	走行表示速度	GPS で記録した走行速度を表示します。
⑤	加速度表示	記録されている衝撃 (加速度) の値を、前後 (X 方向: 赤色)、 左右 (Y 方向: 黄緑色)、上下 (Z 方向: 青色) で表示します。
⑥	緯度・経度表示	GPS で記録した緯度 (N)・経度 (E) を表示します。
⑦	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。
⑧	加速度センサー グラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。

No.	表示名	表示の意味
⑨	NIGHT(ナイト)モードボタン	映像を明るく表示します。  : ON、  : OFF
⑩	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑪	地図表示	読み込まれた映像は Google Maps に連動して自車位置が移動します。インターネットに接続されていないと、地図 (Google Maps) は表示されません。
⑫	録画コマ数	記録されているコマ数です。
⑬	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。

3. 表示エリアの操作

表示エリアでは下記の操作が行えます。

■ 画像表示エリアメニュー

マウスの右クリックで「画像表示エリアのメニュー」を表示します。



・画像状態

画像の回転角度を表示します。

・標準に戻す

拡大した画像や反転・回転した画像を初期表示に戻します。

・画面操作

画像の範囲拡大、移動、回転の操作ができます。

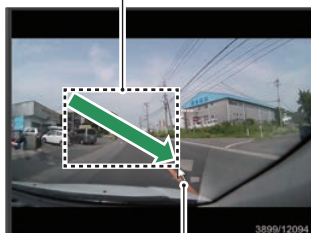
※ 元に戻す場合は、右クリックで「画像表示エリアのメニュー」を表示させ、[標準に戻す]を選択します。

<範囲拡大>

範囲拡大に ☒ を入れ、範囲を指定することで、拡大表示します。

マウスの左ボタンで拡大したい部分をドラッグします。

点線部分が範囲選択部分です。



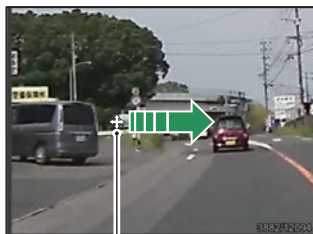
マウスポインター



<移動>

移動に ☒ を入れ、拡大表示した画像の表示位置を移動します。
マウスの左ボタンでドラッグし、表示させたい部分まで移動します。

※ 拡大表示していない場合、[移動] はできません。



マウスポインター



<回転>

回転に ☒ を入れ、画像を回転します。
マウスの左ボタンでドラッグし、回転します。

マウスポインター



・反転

[左右反転] をクリックすると、画像を左右に反転します。
[上下反転] をクリックすると、画像を上下に反転します。



左右反転



上下反転

・拡大・縮小

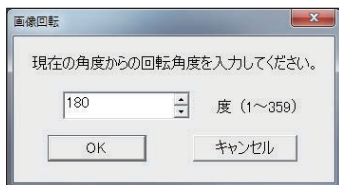
[拡大] をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を 200% 拡大します。

[縮小] をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を 50% 縮小します。

・回転(角度指定)

[時計回り] をクリックし、角度を入力すると画像が時計回りに回転します。

[反時計回り] をクリックし、角度を入力すると画像が反時計回りに回転します。



・周囲カメラ表示調整

本機では使用しません。

・NIGHT モード

映像を明るく表示します。

・別ウインドウで表示

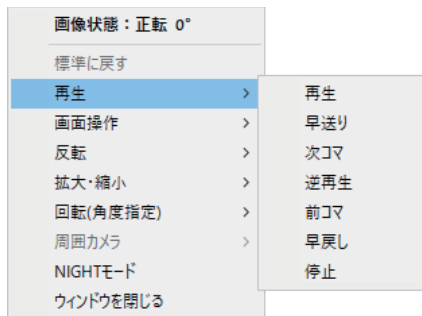
表示エリアの映像をブラウザとは別ウインドウで表示します。



別ウインドウ

・再生

別ウインドウ内で右クリックすると、映像の再生・停止などを操作することができます。



録画データを再生する

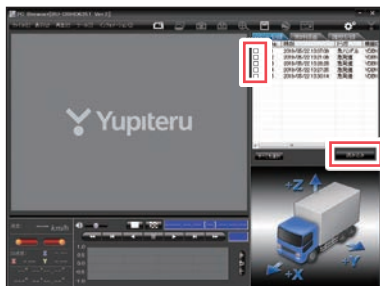
1. 録画データを再生する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 見たい録画データ名に ☒ を入れ、 [読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☒ が表示されます。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [イベント] をクリックしても同じ画面表示になります。

※ [トリガ] をクリックすると、トリガの種類を選択して表示することができます。

1-3 再生する

 ボタンをクリックすると、再生します。

■ 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



・ [再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。

■  や  ボタンを複数回クリックすることで、再生速度を変更できます。

・  を 1 回クリックすると 1 倍速 (通常速度)、2 回クリックすると 0.5 倍速 (スロー) で [再生] または [逆再生] できます。

・  を 1 回クリックすると 2 倍速、2 回クリックすると 4 倍速、3 回クリックすると 8 倍速、4 回クリックすると 16 倍速で [早送り] または [早戻し] できます。

-  ボタンをクリックすると[1 画面表示]と[複数カメラ表示]を切り替え、
-  ボタンをクリックすると[16 分割表示]を表示します。

・[表示] → [画面表示] から [1 画面表示] [16 分割表示] [複数カメラ表示] をクリックしても同様の動作となります。

・サブカメラの録画データがある場合…

 ボタンをクリックすると、「カメラ 1 表示」と「カメラ 2 表示」を切り替えます。

[複数カメラ表示] の場合には、 ボタンをクリックすると、サブカメラの再生場所を移動できます。

※ サブカメラで録画を行っていない場合、[複数カメラ表示] は選択できません。



< 1 画面表示 >



< 16 分割表示 >



< 複数カメラ表示 >

■ 車速、ウインカー、ブレーキ情報

・ウインカーやブレーキランプ、車速パルス信号が記録できます。



車速	GPS からの情報または車速信号線からの情報で車両の速度を表示します。 ※ 専用ソフトの[ツール] → [速度表示選択] から [GPS 速度] または [車速パルス] を選択できます。
ウインカー	ウインカーを出したことがウインカー表示部の点滅で確認できます。
ブレーキ	ブレーキを踏んだことがブレーキ表示部の点灯で確認できます。

※ 車速信号線 (車速パルス) の情報で速度を表示すると、速度表示の右上に  が表示されます。

・[ツール] → [速度表示選択] から [GPS 速度] または [車速パルス] を選択します。

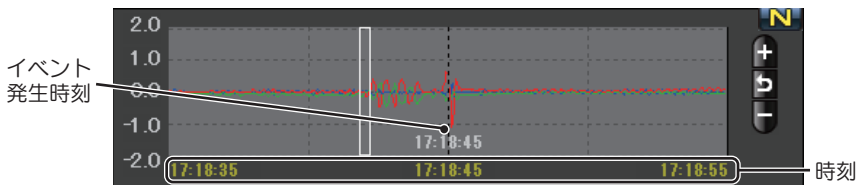


※ [動画変換] ( P.42) で書き出される速度情報も、ここで選択した車速信号の情報になります。

- 加速度センサー表示は  ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、
-  ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。
-  ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

・[表示] → [加速度センサースケール] から [拡大] [標準] [縮小 1] [縮小 2] を選択、操作しても同様の動作となります。

・エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。



加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。

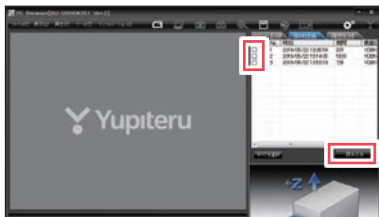
2. 録画データを再生する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする



2-2 見たい録画データ名に ☒ を入れ、 [読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに☒が表示されます。

※ 一度に読み込むデータの量を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

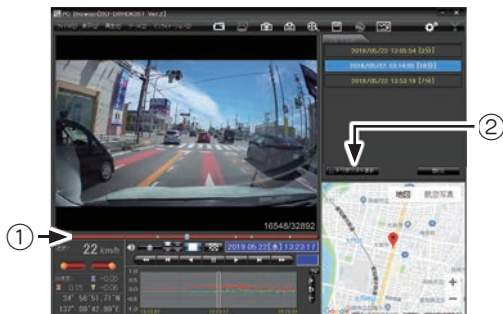
※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル]をクリックし[読み込み]から[常時録画]をクリックしても同じ画面表示になります。

2-3 再生する

 ボタンをクリックすると、再生します。

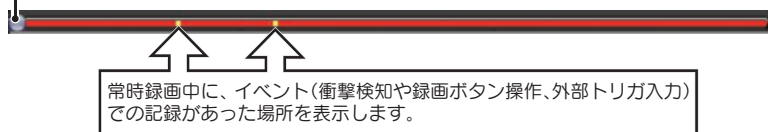
■ 画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。 黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン	常時録画中のイベント位置(衝撃検知位置やワンタッチ記録位置、外部トリガ入力位置)を表示します。

■ つまみをスライドさせ  ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。

つまみ



■  トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのリスト表示に切り替えることができます。

プレイリスト		
2019/05/22	11:30:42	【衝撃】
2019/05/22	11:13:54	【ワンタッチ】
2019/05/22	11:38:52	【衝撃】
2019/05/22	13:17:29	【外部トリガ1】

リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

イベント記録のデータ名について

ワンタッチ記録や衝撃を検知した日付、時間がデータ名となります。

2019 / 05 / 22 12 : 34 : 56 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ(映像を記録するきっかけ)

●トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「衝撃※¹」「急発進※¹」「急ブレーキ※¹」「急ハンドル※¹」、外部トリガより入力があった場合は「外部トリガ1」、録画ボタンを押して記録した場合は「ワンタッチ」と表示されます。

※ 1：トリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

※ 衝撃が複数あった場合や、衝撃と急発進が重なって発生した場合は「衝撃，など」と記録されます。

常時録画のデータ名について

日時、時間、期間がデータ名となります。

2019 / 05 / 22 12 : 34 : 56 20分
年 月 日 時 分 秒 期間(映像の記録時間)

記録した映像を保存する

SD カード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

1. バックアップ

SD カードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除 (● P.62) を行ってください。

1-1 データ名の一覧より、保存したい
録画データ名に ☒ を入れ、[読み込み] をクリックする

1-2  (バックアップ) をクリックする



※ [ツール] をクリックし [バックアップ] をクリックしても同じ画面表示になります。

※ [全てバックアップ] に ☒ を入れると SD カードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

1-3 保存先を指定し、[スタート] を
クリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

1-4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときは、[OK] をクリックします。

※ PC Browser タイプで保存した場合 フォルダ内に「バックアップ年月日_バックアップ時刻」のフォルダが作成され、その中に「データ年月日_データ時刻.bak」ファイルが作成されます。

2. 動画変換

記録されたデータを AVI 形式の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像をみる

動画変換して保存したファイルは Microsoft Media Player Ver12.0 以上で再生できます。

2-1 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に ☒ を入れ、[読み込み]をクリックする

※ サブカメラが同時に記録されている場合、動画がメインカメラ、サブカメラで作成されます。

2-2 (動画変換)をクリックする

※ [ツール]をクリックし、[動画変換]をクリックしても同じ画面表示になります。

2-3 変換区間、圧縮形式、字幕、保存先やファイル名を指定し、[スタート]をクリックする



・変換区間について

全て変換するの ☒ を外すと変換区間を指定できます。

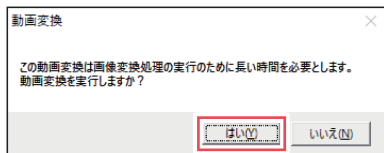
・字幕について

[日時設定]などに ☒ を入れると、選択した情報を動画上に表示します。

※ 車速/パルス速度を表示している場合は、[速度 (車速/パルス)]と表示されます。

※ 画像圧縮形式を [H.264] にした場合、字幕は保存されません。

2-4 [はい]をクリックする



2-5 「完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックする

PC Browser の画面に戻ります。指定した保存先に * .avi ファイルが保存されます。

※ * 部には、映像を記録した日時とカメラ番号か、指定した名称が入ります。

3. 静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、[表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択します。

静止画変換した映像をみる

静止画変換し JPEG 形式で保存した画像は Windows の標準ソフトで見ることができます。

- 3-1 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に ☒ を入れ、[読み込み] をクリックする

- 3-2  (静止画変換) をクリックする

※ [ツール] をクリックし、[静止画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

- 3-3 [表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択し、お好みの保存先を指定し、[スタート] をクリックする



・表示中の静止画すべて
1 画面表示で静止画変換を行った場合は 1 枚、16 分割表示から静止画変換を行った場合は、表示されている 16 画面の映像すべてを静止画に変換できます。

・コマ数指定 (選択した静止画から)
表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

< 秒間 >

範囲指定された、表示エリアの映像の長さ (秒) を表示しています。

< コマ / 秒 >

1 秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (● P.56) が反映されます。

※ 静止画枚数は秒×コマ数になります。

- 3-4 「完了しました」と表示されたら、[OK] をクリックする

PC Browser の画面に戻ります。

レポートを表示する

レポートを作成し表示することができ、またレポートを印刷することもできます。

※ 一度に複数のレポートは表示できません。

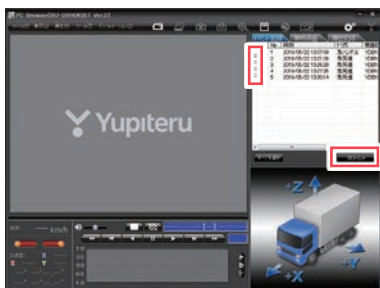
1. レポートを表示(印刷)する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 表示したい録画データ名に ☒ を 入れ、[読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ
表示されます。



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、
記録されているデータすべてに ☒ が
表示されます。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイ
リスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル]をクリックし[読み込み]から
[イベント]をクリックしても同じ画
面表示になります。

※ 一度に読み込むデータ数を多くする
と、データ名を表示するのに時間がか
かる場合があります。

1-3 表示したい録画データを選択し、 (レポート表示)をクリックする

イベント記録レポートが表示されます。



■ イベント記録レポート表示例



No.	表示名	表示の意味
①	発生日時	イベント発生日時を表示します。
②	速度	平均速度、最高速度を表示します。
③	イベント種類	イベントの種類を表示します。
④	画像	録画データの開始 / 終了時、イベント発生時とその前後 2 秒の画像を表示します。
⑤	印刷	印刷プレビューを表示します。
	参照	CSV データの出力先を設定します。
	CSV 出力	CSV データを出力します。
	閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ	速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)
⑦	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)
⑧	地図	地図を表示します。

※ 速度に関する表示 (グラフを含む) や地図は、GPS 非測位時には表示されません。

1-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

プレビュー画面が表示されます。

■ 印刷プレビュー表示例

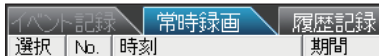


・ ボタンの機能

ボタン	表示の意味
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

2. レポートを表示(印刷)する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする



2-2 表示したい録画データ名に ☒ を入れ、[読み込み]をクリックする

選択した録画データが読み込まれ表示されます。



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☒ が表示されます。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [常時録画] をクリックしても同じ画面表示になります。

2-3 表示したい録画データを選択し、 (レポート表示) をクリックする

常時録画レポートが表示されます。



■ 常時録画レポート表示例



No.	表示名	表示の意味
①	日時	録画データの日時を表示します。
②	運転時間	運転時間を表示します。
③	速度	平均速度、最高速度を表示します。
④	走行距離	走行距離を表示します。
⑤	イベント回数	イベント回数を表示します。
⑥	ボタン	印刷
		参照
		CSV 出力
		閉じる
⑦	速度グラフ	速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)
⑧	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)
⑨	地図	地図を表示します。

※ 速度に関する表示 (グラフを含む) や地図は、GPS 非測位時には表示されません。

2-4 印刷する場合は、[印刷] ボタンをクリックする

プレビュー画面が表示されます。

■ 印刷プレビュー表示例

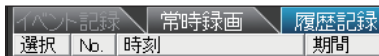


・ ボタンの機能

ボタン	表示の意味
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

3. レポートを表示(印刷)する(履歴記録)

3-1 履歴記録をクリックする



3-2 表示したいデータ名に ☒ を入れ、 [読み込み]をクリックする

選択したデータが読み込まれ
表示されます。



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、
記録されているデータすべてに ☒ が
表示されます。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイ
リスト最上段の映像が表示されます。

※ [ファイル]をクリックし[読み込み]か
ら[履歴記録]をクリックしても同じ画
面表示になります。

3-3 (レポート表示)をクリックする

履歴記録レポートが表示されます。



※ 読み込まれたすべての履歴記録が履歴
記録レポートに表示されます。

■ 履歴記録レポート表示例



No.	表示名	表示の意味	
①	日付	記録年月日を表示します。	
	時刻	記録開始から終了の時刻を表示します。	
	運転時間	運転時間を表示します。	
	走行距離	走行距離を表示します。	
	平均速度	平均速度を表示します。	
	最高速度	最高速度を表示します。	
	衝撃	「衝撃」イベントの回数を表示します。	
	急発進	「急発進」イベントの回数を表示します。	
	急ブレーキ	「急ブレーキ」イベントの回数を表示します。	
	急ハンドル	「急ハンドル」イベントの回数を表示します。	
	ワンタッチ	「ワンタッチ」イベントの回数を表示します。	
	わき見	本機では表示しません。	
	居眠り	本機では表示しません。	
②	回数	イベント回数の合計を表示します。 ※ その他のイベントも含みます。	
	地図	地図を表示します。	
③	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSV データの出力先を設定します。
		CSV 出力	CSV データを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。

※ 速度に関する表示や地図は、GPS 非測位時には表示されません。

3-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

プレビュー画面が表示されます。

■ 印刷プレビュー表示例



・ ボタンの機能

ボタン	表示の意味
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

記録した映像を印刷する

1. 記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

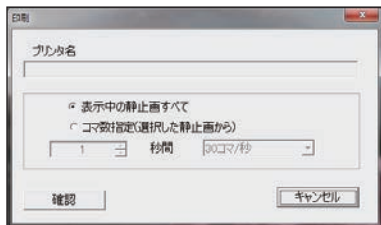
- 1-1** データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に ☒ を入れ
[読み込み]をクリックする

※ 表示エリアの操作 (● P.34) で映像を回転させると、回転した状態の映像を印刷できます。

- 1-2**  印刷をクリックする

※ [ファイル]をクリックし、[印刷]をクリックしても同じ画面表示になります。

- 1-3** [表示中の静止画すべて] または
[コマ数指定] を選択する



・ **表示中の静止画すべて**
表示エリアの映像を印刷します。16 分割で表示されているときは、表示されている 16 枚の印刷を行います。

・ **コマ数指定**
表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数 (● P.56) が反映されます。

※ 印刷枚数は秒×コマ数になります。

- 1-4** [確認] をクリックする



・ **印刷**
印刷枚数を選択します。[OK]をクリックすると印刷を行います。

・ **プリンタ設定**
印刷するプリンタの設定を行います。

・ **1 コマ表示**
1 枚に 1 コマの映像データを表示します。

・ **4 コマ表示**
1 枚に 4 コマの映像データを表示します。

- 1-5** 終了するときは [閉じる] を
クリックする

履歴記録を見る

1. 履歴記録を見る

走行ルートや映像を記録したポイントを確認することができます。本機の電源が入っている間、GPS 測位によって約 1 秒ごとに自車位置を記憶し、設定した時間分(P.56)の履歴(ログデータ)を SD カードに保存します。

※ GPS 測位できない場合は、自車位置を記録できません。

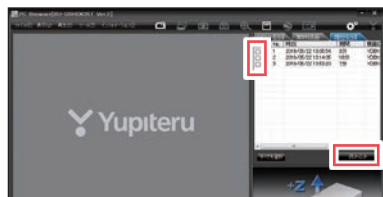
※ 合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

※ 履歴(ログデータ)を作らないようにすることはできません。

1-1 [履歴記録]をクリックする



1-2 見たいデータ名に ☒ を入れ、 [読み込み]をクリックする

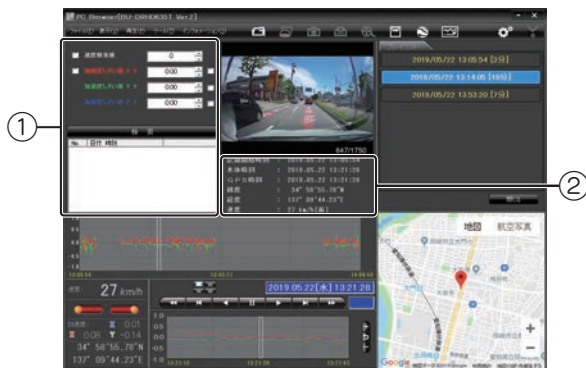


※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに ☒ が表示されます。

※ 一度に読み込むデータの量を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

■ 画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	検索	速度や加速度の値を設定し、検索することができます。
②	データ情報(記録開始時刻、本体時刻、GPS 時刻、緯度、経度、速度)	映像の記録日や緯度、経度などの情報を表示できます。

■ 検索

履歴の中から設定した値を越える速度や衝撃(加速度)の映像を検索でき、データとして表示します。

No.	日付 時刻
1	2019/05/22 13:05:55
2	2019/05/22 13:06:01
3	2019/05/22 13:06:07

- ・ ☒ を入れ、任意の数字を入力してください。
- ・ 検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

No	表示名	表示の意味
①	速度検索値	検索する走行速度を設定します。
②	加速度しきい値 X ±	検索したい前後方向の値を設定します。
③	加速度しきい値 Y ±	検索したい左右方向の値を設定します。
④	加速度しきい値 Z ±	検索したい上下方向の値を設定します。

■ データ情報

読み込まれたデータの記録開始時刻、本体時刻、GPS 時刻、緯度、経度、速度 [進行方向] を表示します。

記録開始時刻	: 2019.05.22 13:05:54
本体時刻	: 2019.05.22 13:21:28
G P S 時刻	: 2019.05.22 13:21:28
緯度	: 34° 58'55.78"N
経度	: 137° 09'44.23"E
速度	: 27 km/h[南]

Google Earth 用のデータに変換する

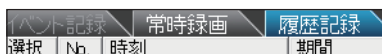
1. Google Earth 用のデータに変換する

蓄積された履歴データを KML ファイルに変換できます。変換した KML ファイルを使って Google Earth 上で全走行ルートが表示ができます。また記録した映像を静止画に変換して(P.43)Google Earth の機能を使って、ルート上に表示・保存できます。

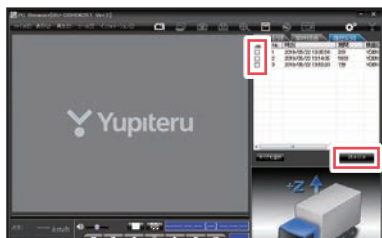
※ あらかじめ Google Earth のホームページより Google Earth をダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。

※ Google Earth のご使用方法等は、Google Earth のホームページをご確認ください。

1-1 [履歴記録] をクリックする



1-2 変換したいデータ名に ☒ を入れ、[読み込み] をクリックする



※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに ☒ が表示されます。

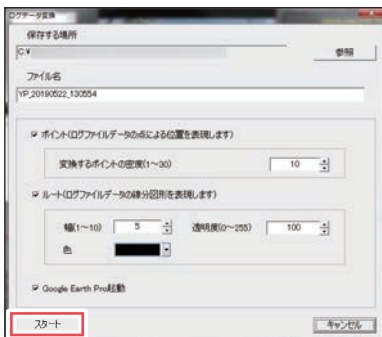
※ [ファイル] をクリックし、[読み込み] から [履歴記録] を選択しクリックしても同じ画面表示になります。

※ 複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

1-3 (ログデータ変換) をクリックする

※ [ツール] → [ログデータ変換] を選択しても同様の動作となります。

1-4 保存する場所、お好みのファイル名、ポイント、ルートを設定し、[スタート] をクリックする



■ ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS 測位による 1 秒間隔の自車位置変化をポイントとして Google Earth に表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

・変換するポイントの密度：(1 ~ 30)

Google Earth に表示させる自車位置の間隔を秒数(1 ~ 30)で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く(広く)なります。数値を小さくすると自車位置の細かな変化を見ることができます。

■ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

・幅：(1 ~ 10)

走行軌跡表示の幅を設定します。

・透明度：(0 ~ 255)

走行軌跡表示の透明度を設定します。0 は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

・色

走行軌跡表示の色を設定します。

■ Google Earth 起動

ログファイル保存完了後、Google Earth を自動で起動します。

1-5 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときは [OK] をクリックします。

- ・ [Google Earth 起動] に ☒ を入
れると、ログファイル保存完了後
Google Earth が起動し、画面上に
走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡は Google Earth 上の道路や
地形と必ずしも一致しません。ずれて
表示されることがありますのでご了承
ください。

設定を変更する

設定を変更する前に、「使用機種（ P.69）」の「SD カードの設定」が「BU-DRHD635T Ver.2」になっているかを確認してください。

※ 間違った機種選択をした場合、本機は正常に動作しません。



設定変更を行う場合は必ず SD カードを SD カードリーダーに接続してご使用ください。
設定内容は SD カードに保存されます。

SD カードを本機に戻し、本機の電源が入ると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。

1. 記録設定

 (記録設定) をクリックすると、各種の設定変更や SD カードの初期化や録画データのバックアップ、SD カードからの録画データの削除を行うことができます。

※ [ツール] をクリックし [記録設定] をクリックしても同じ画面表示になります。

■ 録画方法

録画する方法を [常時録画] [イベント記録] [常時 + イベント] から選択できます。

※ 初期値は [常時 + イベント] に設定されています。

常時録画	エンジン始動時からエンジン停止直前までの映像を SD カードに記録します。(30 コマ / 秒、1080P(1920 × 1080))で、付属の SD カード(8GB)に約 120 分の常時録画が可能です。 ※ [常時録画] に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。ただし、イベント検出されたことは、常時録画の録画データ内にトリガとして記録されます。
イベント記録	衝撃を検知した場合、録画ボタンを押した場合、外部トリガより入力のあった場合に映像を記録します。
常時 + イベント※1	常時録画を行いながらイベントを検出した場合、映像を別のデータで記録します。

※ 1: メインカメラを [解像度: [1080P(1920 × 1080)]、録画コマ数: [30 コマ / 秒]] に設定し、サブカメラを [有効]、解像度: [1080P(1920 × 1080)] に設定した場合、録画方法の [常時 + イベント] は選択できません。

※ 1: [イベント記録コマ数] が表示されます。

記録形式変更時の注意

すでに SD カードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合（[常時録画] から [イベント記録] への変更など）は、SD カードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。

設定を変更する場合は、SD カードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップしてください。（● P.41）

削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

■解像度

記録する映像の解像度を選択できます。

※ 初期値は [1080P(1920 × 1080)] に設定されています。

解像度	1080P(1920 × 1080)、1080P(1440 × 1080)、720P(1280 × 720)、VGA(640 × 480)
-----	---

■録画コマ数

記録する映像のコマ数を選択できます。

※ 初期値は [30 コマ / 秒] に設定されています。

録画コマ数	30,15,10,5,1 コマ / 秒、2,1 コマ / 分、12,6 コマ / 時
-------	--

※ メインカメラの録画コマ数を [2 コマ / 分]、[1 コマ / 分]、[12 コマ / 時]、[6 コマ / 時] に設定した場合、イベント記録コマ数は [1 コマ / 秒] になります。

※ メインカメラの録画コマ数を [2 コマ / 分]、[1 コマ / 分]、[12 コマ / 時]、[6 コマ / 時] のいずれかに設定した場合、駐車モードは使用できません。（● P.57「駐車モード」）

■イベント記録時間

イベント記録時間を設定します。

衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。

※ 初期値は [10,10 [20 秒]] に設定されています。

※ サブカメラを [有効] にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によっては、選択できない項目があります。詳細は ● P.78 を参照ください。

イベント記録 時間	60 秒(30,30) (40,20) (50,10)、50 秒(30,20) (25,25) (40,10) 40 秒(20,20) (25,15) (30,10)、30 秒(18,12) (20,10) (25,5) 20 秒(10,10) (12,8) (15,5)
--------------	--

■音声記録

音声も記録する場合に [ON] にします。

※ 初期値は [ON] に設定されています。

■履歴記録時間

24 時間、168 時間、480 時間のログ（位置 / 加速度 / 時間）を記録します。

※ 初期値は [24 時間] に設定されています。

■履歴記録コマ数

1 秒間に記録する履歴記録のコマ数を [1 コマ / 秒] [2 コマ / 秒] から選択できます。

※ 初期値は [1 コマ / 秒] に設定されています。

■駐車モード

常時録画時に、加速度センサーの変動値が一定以下の状態が 5 分間続くと、録画コマ数が 1 コマ / 秒となり駐車モードの録画に切り替わります。

駐車モード時に振動を検知して、加速度センサーの変動値が一定以上になると、自動的に常時録画で設定したコマ数での録画に切り替わります。

駐車モード時は録画ランプ (青) が「1 秒点灯 3 秒消灯」または「1 秒点滅 3 秒消灯 (上書き時)」を繰り返します。

※ 初期値は [ON] に設定されています。

※ メインカメラの録画コマ数を [2 コマ / 分]、[1 コマ / 分]、[12 コマ / 時]、[6 コマ / 時] のいずれかに設定した場合、駐車モードは使用できません。(● P.56「録画コマ数」)

■サブカメラ

別売品のオプションサブカメラ (OP-CM200) またはオプションサブ IR カメラ (OP-CM202IR) を接続して録画を行う場合、[有効] にします。

・ 解像度……………メインカメラ以下で選択できます。

・ 録画コマ数……………メインカメラ以下で選択できます。

・ カラーモード…オプションサブカメラを使用する場合は、[カラー] に設定します。
オプションサブ IR カメラを使用する場合は、[白黒] に設定します。

※ オプションサブ IR カメラ使用時に [カラー] に設定した場合、正しい色合いで録画できません。

※ 初期値は [無効] に設定されています。

※ サブカメラ設定を [有効] にした場合、イベント記録時間がメインカメラのみで記録した場合と異なります。(● P.78)

■上書きモード

SD カードの空き容量が不足したときの映像や履歴の保存方法を選択できます。

[ON] または [OFF] から選択します。

ON	SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。
OFF	容量がいっぱいになると映像は保存されません。

※ 初期値はすべての録画方法で [ON] に設定されています。

2. システム

■ビープ音

イベント記録時のビープ音の ON/OFF を設定できます。

※ 初期値は [ON] に設定されています。

■車速パルス設定

車両の車速信号線に接続をしている場合に設定を選択できます。

車両のパルス信号を [自動検出]、[2 パルス]、[4 パルス]、[8 パルス]、[16 パルス]、[20 パルス]、[25 パルス] から選択します。

自動検出	30km/h から 60km/h で 60 秒間走行すると、自動的にパルスを判断し、設定されます。通常はこちらでご使用ください。
2、4、8、16、20、25 パルス / 回転	選択したパルス固定となります。印刷画面 (P.50) を表示させ、速度 (GPS 値) と速度 (車速パルス) の値が、近い値となるようにパルス数を選択してください。

※ 初期値は [自動検出] に設定されています。

■SD カード ID

SD カード ID を設定できます。SD カード ID と本機 ID をログに書き込むことで SD カードと本機の管理に役立てることができます。

■パスワード

設定を変更できないように、パスワードを設定できます。(1000 ~ 9999 の 4 桁)

■日時設定

「設定する」に ☒ を入れ、日付や時刻を設定することもできます。

※ 本機の電源が入ると SD カードから読み込み、日時を補正します。

手動設定する場合は、現在時刻ではなく、次に本機の電源を入れる日付や時刻を想定して設定してください。

※ GPS より日時情報を取得し、一度電源 OFF した際に、本体時刻の補正が自動的に行われます。

■使用機種

使用する機種を選択します。

※ 操作手順は、 P.70「SD カードの機種設定を変更する」をご参照ください。

3. 衝撃感度設定

■ G センサ記録

G センサー記録の[有効]、[無効]を切り替えます。(☛ P.17「G センサー記録」)

※ 初期値は[有効]に設定されています。

※ [有効]にした場合、[常時録画]に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。

※ [無効]にした場合、すべての録画方法において、G センサー記録を行いません。

■ 簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。

敏感(1)～鈍感(9)までの9段階から設定できます。初期値は[5]に設定されています。

感度レベル	動作・使用条件
1 (敏感)	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
↑ ↓	標準設定 (基本的に事故のみを記録)
	悪路で反応する場合やサスペンションがかたい車の場合
9 (鈍感)	

※車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

・簡単設定モードの ☒ を外すと衝撃を鈍感～敏感までの15段階、急発進/急ブレーキ/急ハンドルの各感度を敏感～鈍感までの9段階から個別に設定できます。

各設定を終えたら[OK]をクリックします。

[現在の設定を保存しますか]と表示されますので、[OK]をクリックしてください。

- ・加速や減速、路面の凹凸などに反応(本機から『ピー』と鳴り録画ランプ(青)が点滅)しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
- ・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

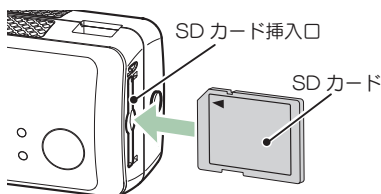
■設置角度検出を実行

本機を初めて取り付けるときや、本機の取り付け角度を変更したときは設置角度検出を実行してください。

3-1 [設置角度検出を実行]に ☒ を 入れ[SD カードへ保存]を クリックする

☒ 設置角度検出を実行

3-2 設定済みの SD カードを本機に 挿入する



・SD カードを挿入するときは…

電源 OFF であること(録画・電源ランプが消灯)を確認して、SD カードを挿入してください。

➡ P.13「SD カードを本機に装着する」

3-3 車両のエンジンを ON する

設置角度を自動的に検出します。



※ 設置角度検出は、平らな場所で行ってください。

※ エンジン始動後、録画ランプ(青)が1回点滅するまで車両を動かさないでください。

※ 『設置角度検出を実行』の ☒ は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、☒ を入れる必要はありません。

4. SD カードフォーマット

一度 SD カード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SD カードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※ 必ず SDHC 規格または SDXC 規格に対応した SD カードライターやカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

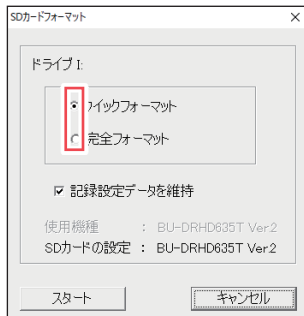
4-1 [SD カードフォーマット] を クリックする

SDカードフォーマット

録画データ削除

※ [ツール]をクリックし、[SD カードフォーマット]をクリックしても同じ画面表示になります。

4-2 [クイックフォーマット]と [完全フォーマット]のいずれか を選択する



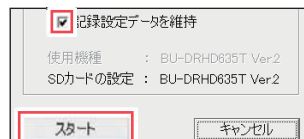
・クイックフォーマット

録画データを消去する簡易的なフォーマットのため短時間で終了します。

・完全フォーマット

SD カード内のチェックを行いながらフォーマットするため時間がかかります。

4-3 [記録設定データを維持]を確認し、 [スタート]をクリックする

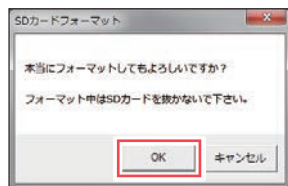
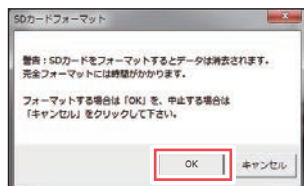


・☒ 記録設定データを維持

SD カードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。

☒ を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

4-4 [OK] をクリックする

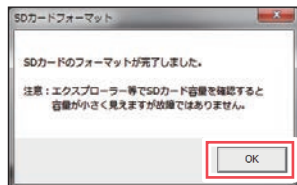


- ・上の確認メッセージが表示されます。
[OK] をクリックします。
- ・中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

- ・さらに上の確認メッセージが表示されます。
[OK] をクリックします。
- ・中止する場合は [キャンセル] をクリックします。

4-5 [OK] をクリックする

フォーマットが完了します。

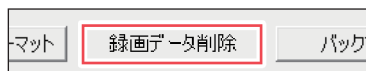


5. 録画データ削除

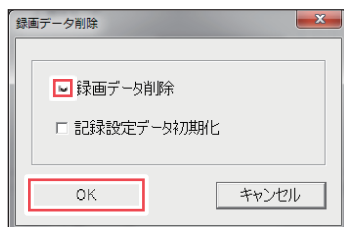
録画データ削除をクリックすると[録画データ削除]と[記録設定データ初期化]が選択画面に表示されます。

- ・ SD カード内に記録されたデータを削除します。
- ・ いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(P.41)

5-1 [録画データ削除]をクリックする



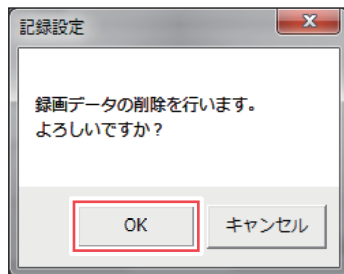
5-2 録画データ削除に ☒ が入っていることを確認し、[OK] をクリックする



- ・ 録画データ削除
☒ を入れると録画データを削除します。
- ・ 記録設定データ初期化
☒ を入れると記録設定データを初期化します。

※ 録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に ☒ を入れてください。

5-3 [OK] をクリックする



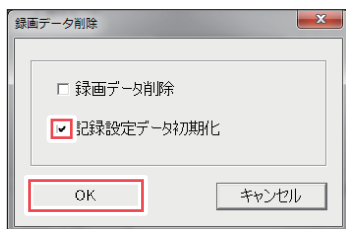
5-4 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。

6. 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

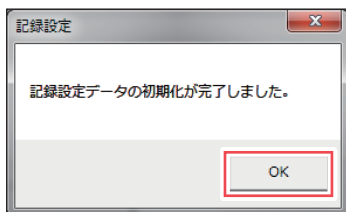
- 6-1 [録画データ削除]の☒を外し、
[記録設定データ初期化]に☒
を入れ[OK]をクリックする



- ・録画データ削除
☒を入れると録画データを削除します。
 - ・記録設定データ初期化
☒を入れると記録設定データを初期化します。
- ※ 録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に☒を入れてください。

- 6-2 [OK]をクリックする

記録設定画面に戻ります。



7. バックアップ

SD カードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ 操作手順は、 P.41 をご参照ください。

8. 初期設定に戻す

クリックすると記録設定データを初期化します。

インフォメーション

インフォメーションでは、バージョン情報とホームページを表示できます。

1. バージョン情報を確認する

ソフトウェアや本体のバージョンなどを表示します。

1-1 [インフォメーション]をクリックする



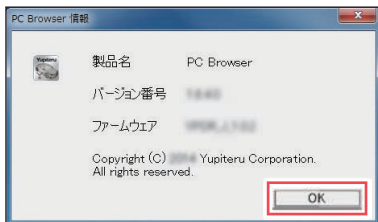
1-2 [バージョン情報]をクリックする

バージョン情報を表示します。



1-3 [OK]をクリックする

バージョン情報の表示を消します。



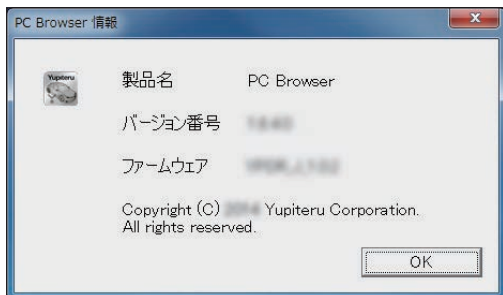
・ファームウェアのバージョン情報が表示されない場合…

専用ソフトにSDカードを読み込んでいない場合やSDカードに録画データが無い場合、ファームウェアのバージョン情報を表示できません。

 をクリックして、SDカードから録画データを読み込み、バージョン情報を確認してください。



■ バージョン情報画面



- ・製品名……………専用ソフトの名称です。
- ・バージョン番号…専用ソフトのバージョンです。
- ・ファームウェア…ドライブレコーダー本体のバージョンです。

2. ホームページを表示する

2-1 「インフォメーション」をクリックする



2-2 「ホームページ」をクリックする ユビテルホームページを開きます。



※ 画面右上の  をクリックしてもユビテルホームページを開くことができます。

3. その他

「Google Maps/Google Earth 追加利用規約」「Google Privacy Policy」をクリックすると Google Maps/Google Earth などの利用規約を確認することができます。

※ インターネットの接続が必要になります。あらかじめパソコンをインターネットに接続してから行ってください。



別売品の SD カードを使用する前に・・・

別売品の SD カード(OP-SD08、OP-SD16、OP-SD32、OP-SD64、OP-SD128)を本機で使用する場合、「SD カードフォーマット」と「使用する機種での設定 (機種選択)」が必要になります。使用前には必ず下記の手順で行ってください。

※ そのまま使用した場合、正常に動作しません。あらかじめご了承ください。

※ 専用ソフトに接続した際に、「有効な SD カードではありません」と表示された場合にも下記の操作を行ってください。

※ 別売品の SD カード (OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、リーダーライターが SDXC メモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないリーダーライターに接続すると、SDXC メモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

1. バージョン情報を確認する

1-1 最新の専用ソフトに更新する

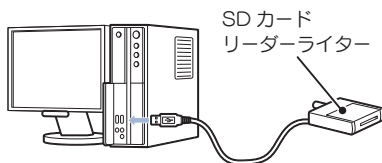
下記の URL から最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-4 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



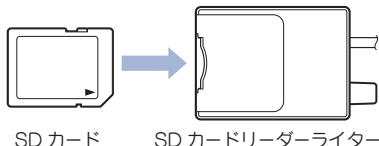
1-2 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



1-5 メニューバーの[ツール]→[機種選択]→[BU]→[BU-DRHD635T Ver.2]を選択する



1-3 SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

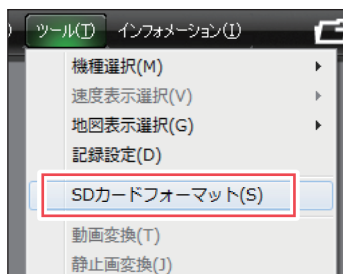




PC Browserの右側に[BU-DRHD635T Ver.2]と表示されます。

※ 間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

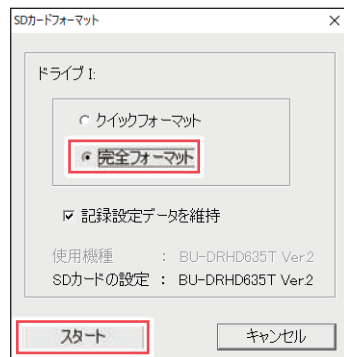
1-6 メニューバーの[ツール] → [SDカードフォーマット]を選択する



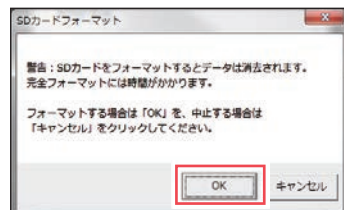
1-7 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



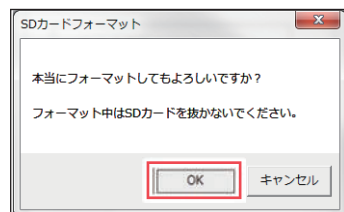
1-8 [完全フォーマット]を選択し、[スタート]をクリックする



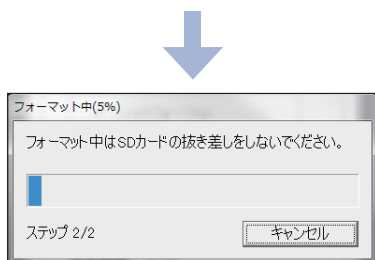
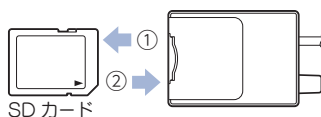
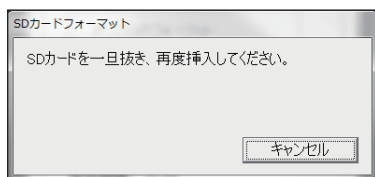
1-9 [OK] をクリックする



1-10 [OK] をクリックする

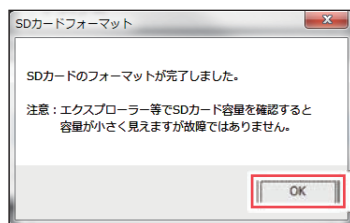


1-11 SD カードを抜き差しする



フォーマットが開始されます。

1-12 [OK] をクリックする



各種設定 (P.55) を行ってから SD カードをパソコンから取り出し、本機に装着してご使用ください。

SD カードの機種設定の確認 / 変更

専用ソフトで、SD カードの機種設定を確認することができます。SD カードの機種設定と使用するドライブレコーダーが異なると、録画できない場合があります。使用するドライブレコーダーを変更する場合は、必ず SD カードの機種設定を変更してください。(P.70)

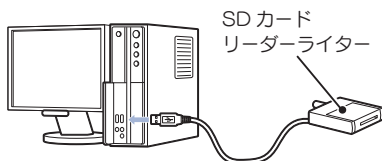
1. SD カードの機種設定を確認する

1-1 最新の専用ソフトに更新する

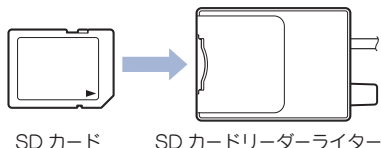
下記の URL から最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 SD カードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



1-3 SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のデータが破損することがあります。

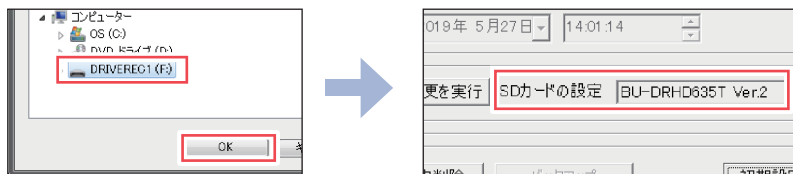
1-4 デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



1-5 メニューバーの [ツール] → [記録設定] を選択する



1-6 [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする

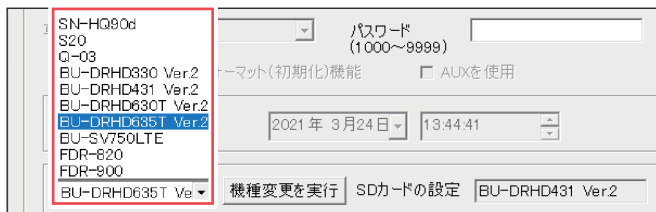


設定画面の「SD カードの設定」に設定している機種名が表示されます。

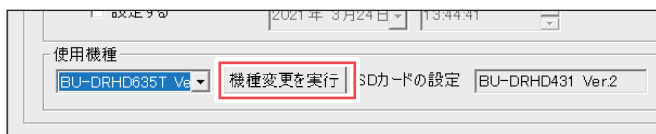
2. SD カードの機種設定を変更する

例) BU-DRHD635T で設定された SD カードを BU-DRHD635T Ver.2 に変更する。

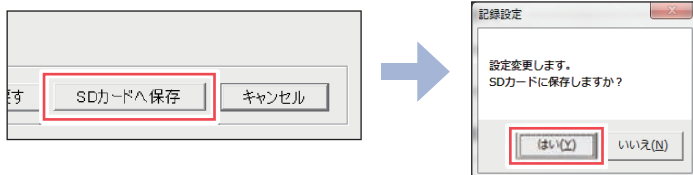
2-1 設定画面の [使用機種] をクリックし使用機種を選択する



2-2 [機種変更を実行] をクリックする



2-3 [SD カードへ保存] をクリックし、[はい] をクリックする



使用機種が変更されます。

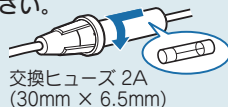
※「設定が変更されたためデータを削除します。バックアップしますか?」と案内を表示する場合があります。表示した場合は、SD カードをフォーマットし録画データが削除されます。必要に応じて録画データをバックアップしてください。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- ☐ 車両接続ハーネスが外れていないか確認してください。
- ☐ 車両接続ハーネスのヒューズが切れていないか確認してください。

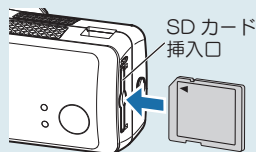
ヒューズホルダーを押しながら図の矢印の方向に回してヒューズを取り出します。
切れている場合は、同じ容量(2A)の新しいヒューズと交換してください。



映像が記録できない

- ☐ 付属の SD カードが正しく挿入されていますか。

付属の SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。
車両のエンジンを OFF し、付属の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。



- ☐ 記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。

上書きモードが OFF の場合上書きができません。
SD カードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更します。(●P.57)

記録した映像が映らない

- ☐ 専用ソフトがインストールされていますか。

弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールしてください。(●P.25)

映像の色合いが正しくない (オプションサブ IR カメラ増設時)

- ☐ サブカメラの設定は [白黒] になっていますか。

オプションサブ IR カメラ(OP-CM202IR)使用時に、専用ソフトのサブカメラの設定を「カラーモード : [カラー]」で録画した場合、正しい色合いで録画できません。
オプションサブ IR カメラご使用時は、必ず [白黒] に設定してください。(●P.57)

SD カードに録画データが保存されていない

- ☐ 録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトで SD カードをフォーマットしてください。(●P.60)

- ☐ SD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。

付属の SD カードまたは別売品の SD カード以外は使用しないでください。
製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

イベント記録がうまく動かない

- ☐ 加速や減速、路面の凹凸などに反応しすぎる場合は、専用ソフトで衝撃感度を鈍感側に設定してください。(●P.59)

感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。

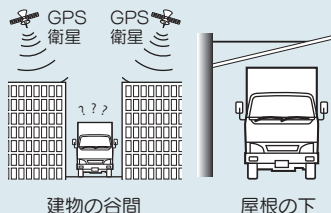
- ☐ 「設置角度検出」を行ってください。(●P.60)

本機を初めて取り付けたときや設置角度を変更した場合は、設置角度検出を実行してください。

速度が表示されない

GPS が測位されていないと速度は表示されません。

ビル谷間の視界が悪い場所では 20 分以上時間が経つ場合があります。障害物や遮へい物の無い視界の良い場所へ移動し、車を停車して GPS 信号を受信してください。

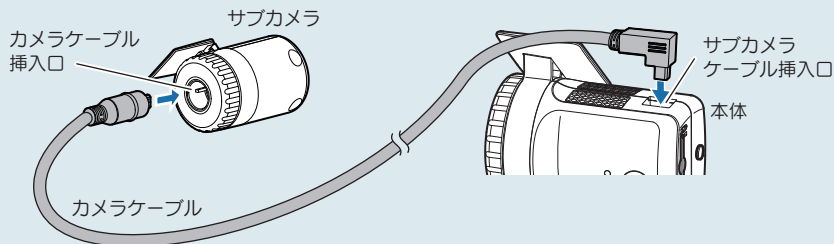


本機から「ピピピピ」と警告音が鳴る

☐ サブカメラが本体に正しく接続されていますか。(サブカメラ増設時)

サブカメラが正しく接続されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンを OFF にし、サブカメラをカメラケーブルで正しく接続してください。

※専用ソフトの設定が「サブカメラ：[無効]」になっている場合、サブカメラが接続されていなくても警告音は鳴りません。

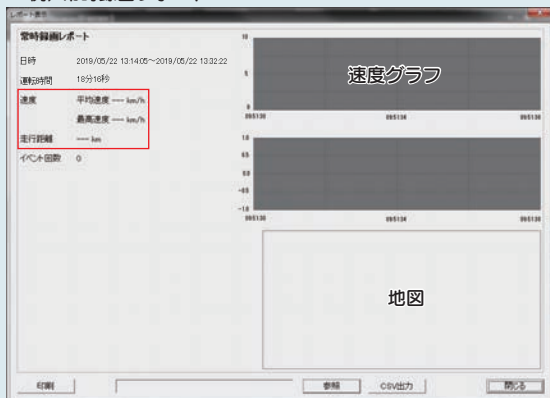


レポート表示の速度、距離に関する表示および地図が表示されない

GPS 非測位時には、以下の内容は表示しません。

- ・ 速度に関する表示 (平均速度、最高速度、速度グラフ)
- ・ 距離に関する表示 (走行距離)
- ・ 地図

例) 常時録画レポート



専用ソフトを起動すると「このSDカードの記録データを読み込むことができません。実行ユーザーの権限などを確認してください。(3.5)」と表示される

□ 「管理者権限」で専用ソフトを起動していますか。

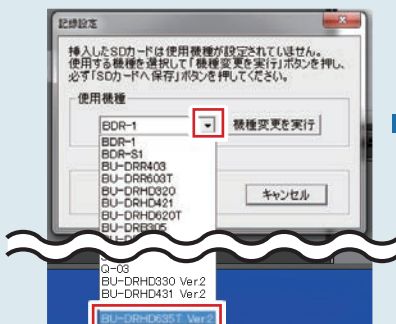
パソコンのローカルディスク C：¥Program Files ※1 ¥PC Browser フォルダを開いて、「PCBrowser.exe」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「互換性」タブ内の、「特権レベル」から、「管理者としてプログラムを実行する」にチェックを入れてください。

※ 1：32bit 環境の場合は「Program Files」と表示され、64bit 環境では「Program Files(x86)」と表示されます。

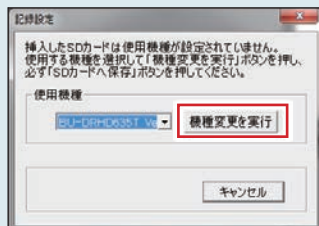
専用ソフトでSDカードを読み込むと「挿入したSDカードは使用機種が設定されていません。」と表示される

□ 下記の手順に沿って使用機種を設定してください。

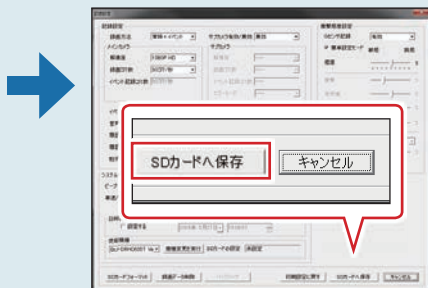
①使用機種の▼をクリックし使用機種を選択する



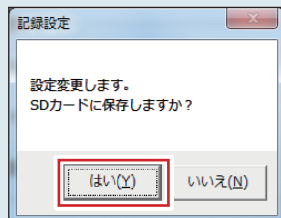
②「機種変更を実行」をクリックする



③設定画面の「SDカードへ保存」をクリックする



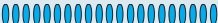
④「はい」をクリックする



SDカードに使用機種の設定が保存されます。

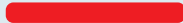
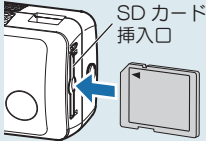
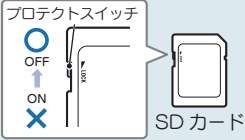
※ [キャンセル]を選択した場合、設定が保存されません。

動作一覧

	本機の動作	録画ランプ(青)の状態	ビープ音	参照 ページ
通常時 ※1	常時録画中	点灯 	なし	☛P.16
	イベント記録中 ・ G センサーが一定以上の 衝撃を検知した。 ・ 録画ボタンを押した。	点滅 (早い) 	『ピーーー』 と鳴る	☛P.17
上書きオフの時	データ容量の上限に 達した時	消灯	『ピーピーピーピー』 と 4 回鳴る	☛P.18
上書き オンの時	常時録画中(上書き時)	点滅 (遅い) 	なし	☛P.18
	イベント記録中 (上書き時) ・ G センサーが一定以上の 衝撃を検知した。 ・ 録画ボタンを押した。	点滅 (3 回点滅を繰り返す) 	『ピーーー』 と鳴る	☛P.18

※1：いずれの記録方法も SD カードの上限に達していない場合。

エラー表示一覧

ランプの状態 (録画ランプ：青、電源ランプ：赤)	警告音	症状・対処法
(青) 消灯 (赤) 	『ピー』と鳴る	付属の SD カードが正しく挿入されていません。  付属の SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。 車両のエンジンを OFF し、付属の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。
(青)  消灯  消灯 消灯 (赤) 消灯  消灯  消灯  消灯 10 秒間交互に点滅 赤だけ点灯	『ピーピーピー』と鳴る	☐ SD カードのプロテクトスイッチが ON(書き込み禁止)になっていませんか。  車両のエンジンを OFF して、付属の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にして、再度正しく挿入してください。 ☐ 本機専用以外の SD カードが挿入されていませんか。 付属のまたは本機専用の SD カードを正しく挿入してください。(●P.13) ☐ SD カードを専用ソフトでフォーマットしてください。(●P.60)
(青)  消灯  消灯  消灯 (赤) 消灯  消灯  消灯  消灯 交互に点滅	『ピーピーピーピー』と 4 回だけ鳴る	SD カードの容量が不足しています。 上書きモードを [OFF] にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、その録画方法での録画を停止します。 頻繁にエラーが出る場合は、以下を確認してください。 ・専用ソフトで「上書きモード」を [ON] にする(●P.57) ・容量が大きい SD カードで録画する(●P.12) ・専用ソフトで「解像度」や「録画コマ数」を変更する(●P.56)
(青)  消灯  消灯  消灯 (赤) 消灯  消灯  消灯  消灯 交互に点滅	『ピー』と鳴る	機器の異常です。 すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。 (●P.79「アフターサービス」)

仕 様

外形寸法 (突起部除く)	本体	80 (W) × 50 (直径) mm ※取付ブラケット (テープ貼付) 装着時 68(H)mm (窓ガラス25° 想定の場合)
	サブカメラ	51 (W) × 33 (直径) mm ※取付ブラケット (テープ貼付) 装着時 37(H)mm (窓ガラス25° 想定の場合)
本体重量	本体	約 152g (SD カード含む)
	サブカメラ	約 40g (ブラケット含む)
記録媒体		SDHC カード (8GB ~ 32GB) (8GB 付属) SDXC カード (64GB ~ 128GB)
撮像素子		200 万画素 カラー CMOS
レンズ画角 ^{※1}	本体／サブカメラ	対角 160° (水平 128°、垂直 96°)
記録解像度	本体／サブカメラ	最大 200 万画素 ^{※2}
画像サイズ	本体／サブカメラ	1080P (1920 × 1080)、1080P (1440 × 1080)、 720P (1280 × 720)、VGA (640 × 480)
画質	本体／サブカメラ	HDR (ハイダイナミックレンジ)
GPS		有 (GPS 受信方式: 16 チャンネル / パラレル 受信方式 GPS 受信周波数: 1.6GHz 帯)
G センサー		有
記録方式		常時録画 / イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録 ＜手動録画＞)
音声		ON / OFF 可能
フレームレート		30 コマ / 秒、15 コマ / 秒、10 コマ / 秒、5 コマ / 秒、1 コマ / 秒、 2 コマ / 分 ^{※3} 、1 コマ / 分 ^{※3} 12 コマ / 時 ^{※3} 、6 コマ / 時 ^{※3}
映像ファイル形式		独自フォーマット
最低被写体照度		1LUX (ルクス)
記録映像再生方法		専用ブラウザソフト ^{※4}
電源電圧		DC12V/24V (マイナスイアース車専用)
消費電力		7W (サブカメラ増設時: 9W)
動作温度範囲		- 10℃ ~ + 60℃
製品保証期間		3 年 (消耗部品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1: 解像度により記録される視野角が変化します。

広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2: 専用ブラウザソフトの画像処理で減少します。

※3: メインカメラの録画コマ数を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]に設定した場合、
イベント記録コマ数は[1コマ/秒]となります。

※4: Microsoft Windows10、8、7に対応。

- ・本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

映像記録時間の目安

付属の SD カード(8GB)の場合、以下ようになります。

- ※ 下記表は目安で、絶対保障値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により、録画可能時間と件数は変化します。
- ※ 録画時間は、常時録画、イベント記録のすべての録画時間の合計です。お使いの状況により、録画可能時間は変化します。
- ※ 16GB の場合は 8GB の 2 倍、32GB の場合は 8GB の 4 倍、64GB の場合は 8GB の 8 倍、128GB の場合は 8GB の 16 倍の録画時間・イベント記録件数になります。

1. 録画時間

- ※ [常時 + イベント] はおおよそですが、SD カード容量を常時 70%、イベント 30% で使用します。
- ※ サブカメラを増設した場合、録画時間は記載時間の半分になります。

	1080P (1920 × 1080)	1080P	720P	VGA
30 コマ / 秒	120(分)	160(分)	220(分)	380(分)
15 コマ / 秒	240(分)	320(分)	440(分)	760(分)
10 コマ / 秒	360(分)	480(分)	640(分)	1,140(分)
5 コマ / 秒	720(分)	960(分)	1,280(分)	2,300(分)
1 コマ / 秒	1,800(分)	2,400(分)	3,200(分)	5,800(分)
2 コマ / 分	900(時)	1,200(時)	1,600(時)	2,900(時)
1 コマ / 分	1,800(時)	2,400(時)	3,200(時)	5,800(時)
12 コマ / 時	9,000(時)	12,000(時)	16,000(時)	29,000(時)
6 コマ / 時	18,000(時)	24,000(時)	32,000(時)	58,000(時)

2. イベント記録件数

■ 30 コマ / 秒の場合

- ※ 15 コマ / 秒の場合、記録件数は 2 倍になり、それ以降のコマ数 / 秒では、比例して増えた件数になります。

	1080P (1920 × 1080)	1080P	720P	VGA
イベント記録時間 前後の合計 60(秒)	120(件)	160(件)	220(件)	400(件)
イベント記録時間 前後の合計 50(秒)	150(件)	200(件)	270(件)	500(件)
イベント記録時間 前後の合計 40(秒)	180(件)	240(件)	320(件)	600(件)
イベント記録時間 前後の合計 30(秒)	240(件)	320(件)	420(件)	800(件)
イベント記録時間 前後の合計 20(秒)	360(件)	480(件)	640(件)	1,200(件)

サブカメラ増設時のイベント記録時間

サブカメラを[有効]にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によっては、選択できない項目があります。

※ サブカメラの解像度・録画コマ数は、メインカメラの設定値以下で選択できます。

全てのイベント 記録時間	60 秒 (30,30)(40,20)(50,10)、50 秒 (30,20)(25,25)(40,10)、 40 秒 (20,20)(25,15)(30,10)、30 秒 (18,12)(20,10)(25,5)、 20 秒 (10,10)(12,8)(15,5)
-----------------	---

■ イベント記録

メインカメラの 解像度	メインカメラの 録画コマ数	選択可能なイベント記録時間
1080P (1920 × 1080)	[30 コマ / 秒]	60 秒 (30,30)、50 秒 (30,20)(25,25)、 40 秒 (20,20)(25,15)、30 秒 (18,12)(20,10)、 20 秒 (10,10)(12,8)、
	[15 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
1080P (1440 × 1080)	[30 コマ / 秒]	60 秒 (30,30)(40,20)、50 秒 (30,20)(25,25)、 40 秒 (20,20)(25,15)(30,10)、30 秒 (18,12)(20,10)、 20 秒 (10,10)(12,8)(15,5)
	[15 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
720P (1280 × 720)	[30 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
VGA (640 × 480)	[30 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間

■ 常時 + イベント

メインカメラの 解像度	メインカメラの 録画コマ数	選択可能なイベント記録時間
1080P (1920 × 1080)	[30 コマ / 秒]	40 秒 (20,20)、20 秒 (10,10)
	[15 コマ / 秒] [10 コマ / 秒]	60 秒 (30,30)、50 秒 (30,20)(25,25)、 40 秒 (20,20)(25,15)(30,10)、30 秒 (18,12)(20,10)、 20 秒 (10,10)(12,8)
	[5 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
	[30 コマ / 秒]	40 秒 (20,20)、20 秒 (10,10)
1080P (1440 × 1080)	[15 コマ / 秒]	60 秒 (30,30)、50 秒 (30,20)(25,25)、 40 秒 (20,20)(25,15)(30,10)、30 秒 (18,12)(20,10)、 20 秒 (10,10)(12,8)
	[10 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
	[30 コマ / 秒]	40 秒 (20,20)、20 秒 (10,10)
720P (1280 × 720)	[15 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
	[30 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間
VGA (640 × 480)	[30 コマ / 秒] 以下	全てのイベント記録時間

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中有的时候

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。

保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

●下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

●紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>